



Second Quarter

2022年3月期 第2四半期累計期間 決算説明資料

NOK 株式会社 (東証1部 7240)

2021年11月10日





注意事項

- ◆ 本資料に記載された、NOK株式会社およびグループ各社の計画、見通し、方針、戦略、意見などのうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ◆ 本資料に掲載されたコンテンツの正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じても一切責任を負いかねます。また、本資料の著作権は、NOK株式会社に帰属しており、無断転載・複製することをご遠慮ください。

進行順序

			(予定)
1	オリエンテーション (事務局)		17:00~
2	2022年3月期 第2四半期累計期間 決算概要 ならびに 2022年3月期 決算見通し 中間配当について 中期経営計画、リバイバル2カ年計画 (代表取締役社長 鶴 正雄)		17:00~17:10
3	2022年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別 決算実績 ならびに 2022年3月期 セグメント別 決算見通し 業種別・所在地別事業概況 (専務取締役 渡邊 哲)		17:10~17:30
4	質疑応答		17:30~18:00

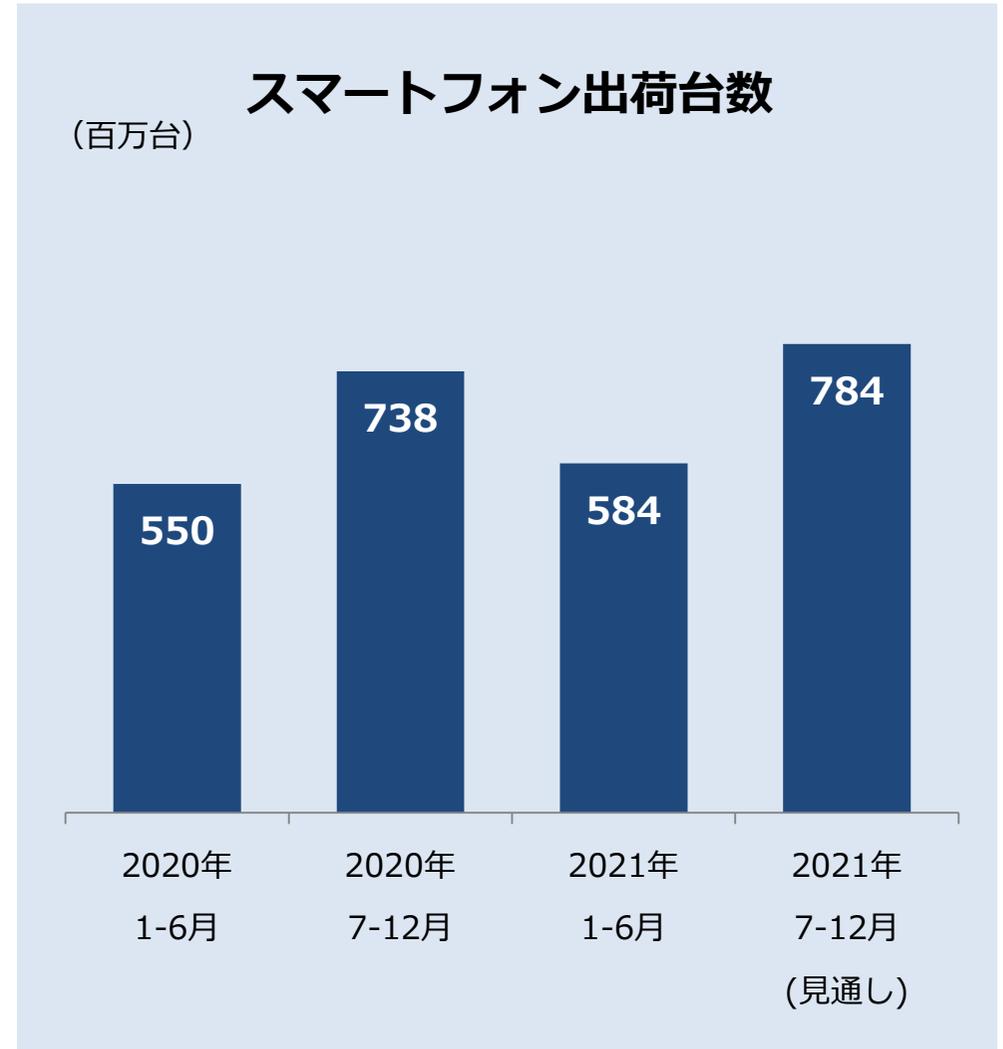
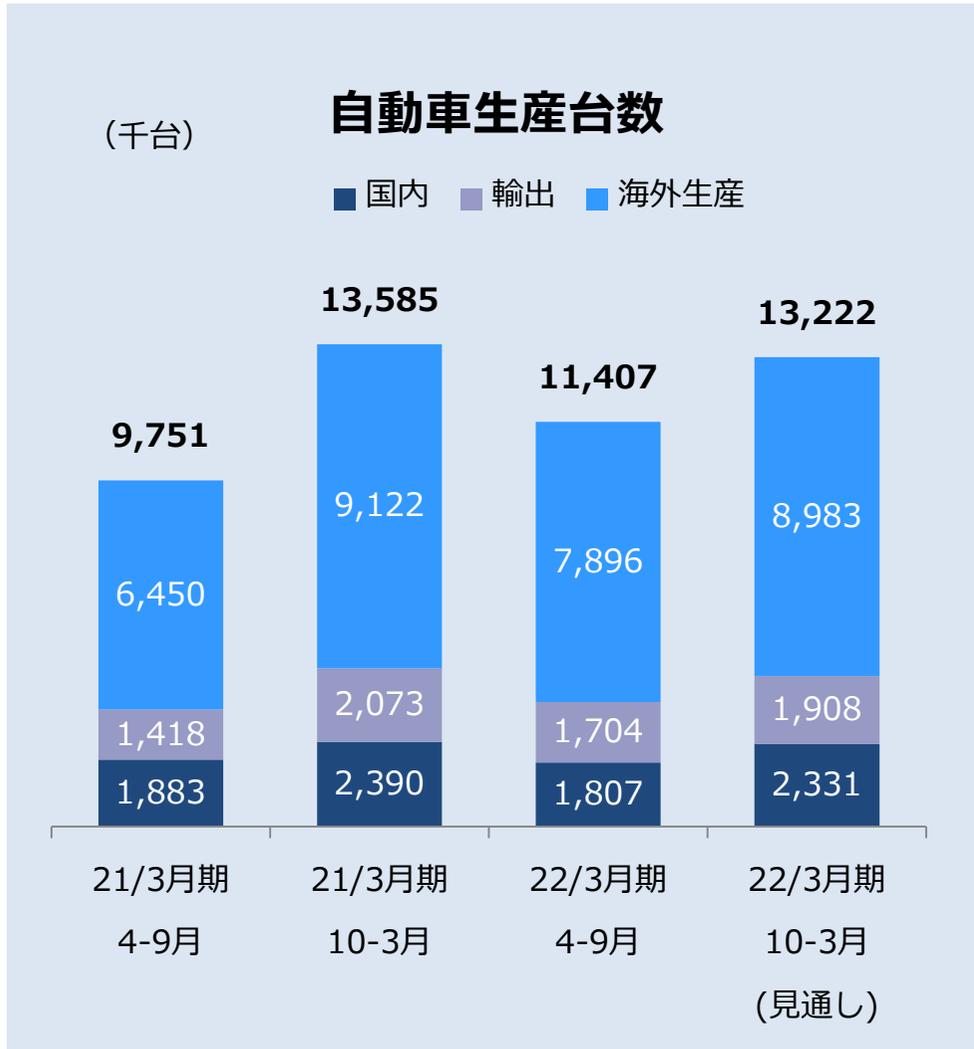
—お願い—

1. 質問は最後一括してお受けします。質問は挙手後指名を受け、会社・氏名紹介後行ってください。
インターネットからご参加されている方は、WEB配信システム上のチャットにて随時質問をお受けします。
2. 時間の都合上、全ての質問にお答えできかねる場合がございます。
3. 終了は18時00分を予定させていただきます。ご了承ください。

2022年3月期 第2四半期累計期間 決算概要



当社グループを取り巻く市場動向



出所：NOK推定

当社グループの事業動向

シール 事業

自動車向けは、半導体等の部品供給不足の長期化に加え、東南アジア地域での新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、需要の回復幅が大きく、販売が増加。一般産業機械向けも、建設機械、工作機械、ロボット等の市場が好調を維持し、販売が増加。営業利益は、人件費・経費の増加があったものの、増収により増益。

電子部品 事業

半導体等の部品供給不足による減産の影響が一部にあるものの、需要の回復により、自動車向け、高機能スマートフォン向けの販売が増加。営業利益は、人件費・経費の増加があったものの、増収により営業損失幅が改善。

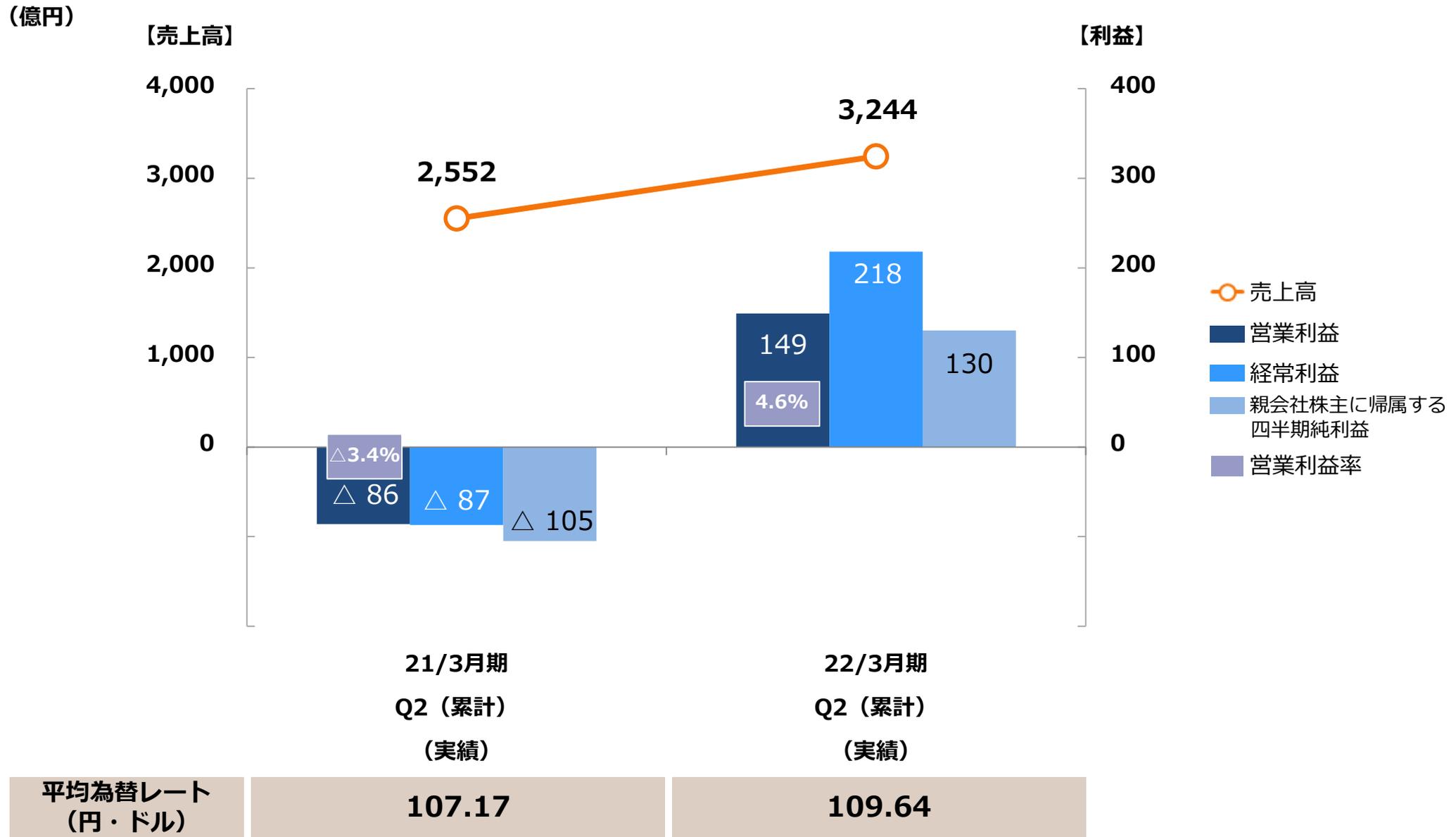
その他 事業

ロール事業は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいた複合機および補修用部品の需要が回復傾向にあり、販売が増加。特殊潤滑剤事業も、自動車向けが好調に推移し、販売が増加。営業利益は、増収により増益。

2022年3月期 第2四半期累計期間 決算実績

(億円)	21/3月期 Q2 (累計) 実績	22/3月期 Q2 (累計) 実績	前年同期対比 増減	
			金額	率
売上高	2,552	3,244	692	27.1%
営業利益	△ 86	149	235	-
経常利益	△ 87	218	305	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 105	130	235	-
営業利益率	△3.4%	4.6%	8.0pt	-
設備投資額	135	173	38	-
減価償却費	203	210	7	-
平均為替レート (円/ドル)	107.17	109.64	-	-
従業員数 (人)	39,119	37,835	△ 1,284	-

2022年3月期 第2四半期累計期間 決算実績【前年同期比】

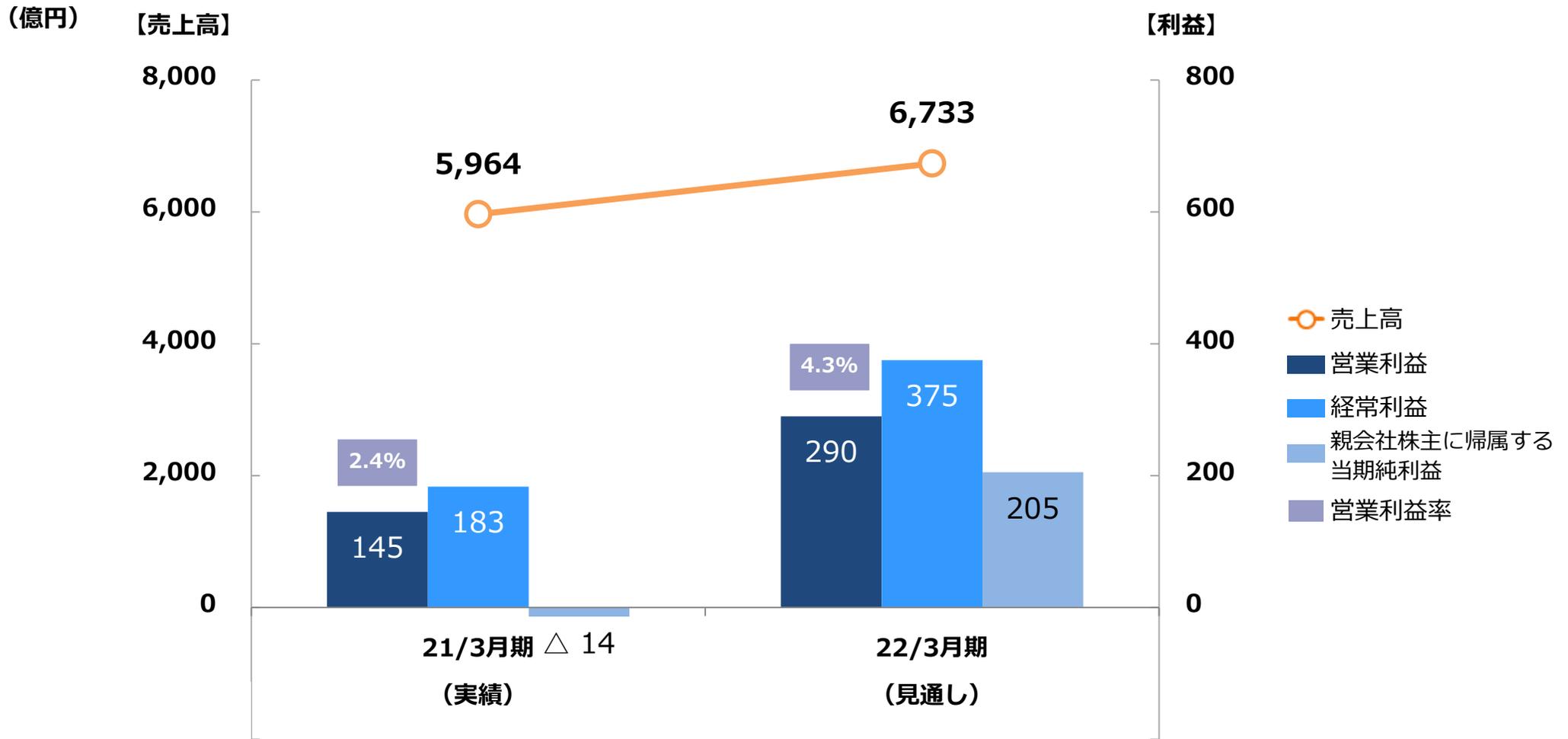


2022年3月期 決算見通し

(億円)	21/3月期			22/3月期			前年同期比増減					
	実績			実績 上期	11/10付 修正見通し		上期		下期		通期	
	上期	下期	通期		下期	通期	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	2,552	3,412	5,964	3,244	3,489	6,733	692	27.1%	78	2.3%	769	12.9%
営業利益	△ 86	231	145	149	141	290	235	-	△ 89	△38.8%	145	100.4%
経常利益	△ 87	270	183	218	157	375	305	-	△ 113	△42.0%	192	104.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 105	91	△ 14	130	75	205	235	-	△ 16	△17.6%	219	-
営業利益率	△3.4%	6.8%	2.4%	4.6%	4.0%	4.3%	8.0pt	-	△2.7pt	-	1.9pt	-
設備投資額	135	122	257	173	258	432	38	-	136	-	175	-
減価償却費	203	203	407	210	219	429	7	-	16	-	23	-
平均為替レート (円/ドル)	107.17	104.62	105.89	109.64	110.00	109.82	-	-	-	-	-	-
従業員数 (人)	39,119	37,999	37,999	37,835	37,576	37,576	△ 1,284	-	△ 423	-	△ 423	-

※「下期（見通し）」は、通期見通しから上期実績を引いたものです

2022年3月期 決算見通し【前期対比】

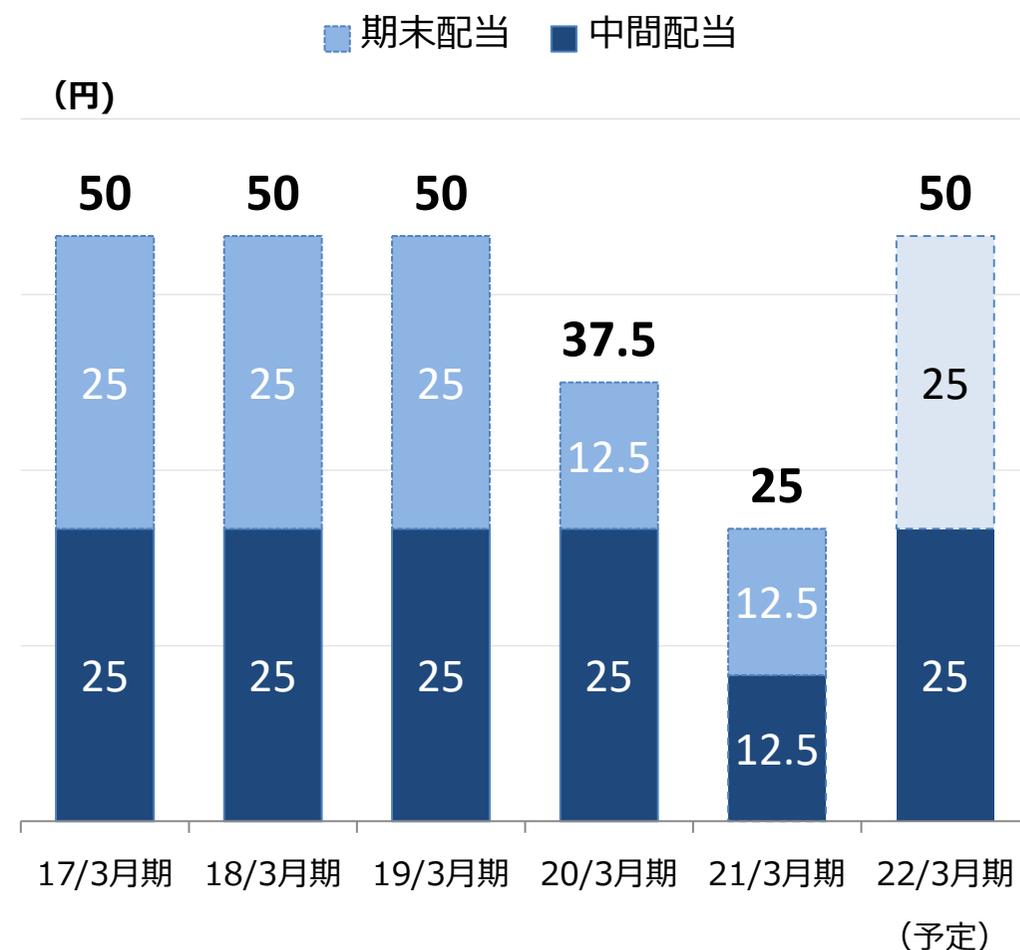


平均為替レート (円・ドル)	105.89	109.82
-------------------	--------	--------

2022年3月期 配当について

2021年3月期	中間	期末
配当	12.5 円	12.5 円
配当性向	-	-

2022年3月期	中間	期末 (予定)
配当	25 円	25 円
配当性向	33.3%	42.2%



中期経営計画





3カ年計画（2021年3月期～2023年3月期）

スローガン

『変化への柔軟な対応と“持続性ある企業”への再挑戦』

方針

1. 特定顧客依存からの脱却 - 拡販と新事業の創出による拡大均衡
2. 品質の原点回帰
3. 実効性あるBCMの運用
4. 競争力向上、収益改善に繋がる業務のデジタル化推進
5. 人間尊重経営の実践 - 活力に溢れた人づくり、柔軟・多様な働き方の導入

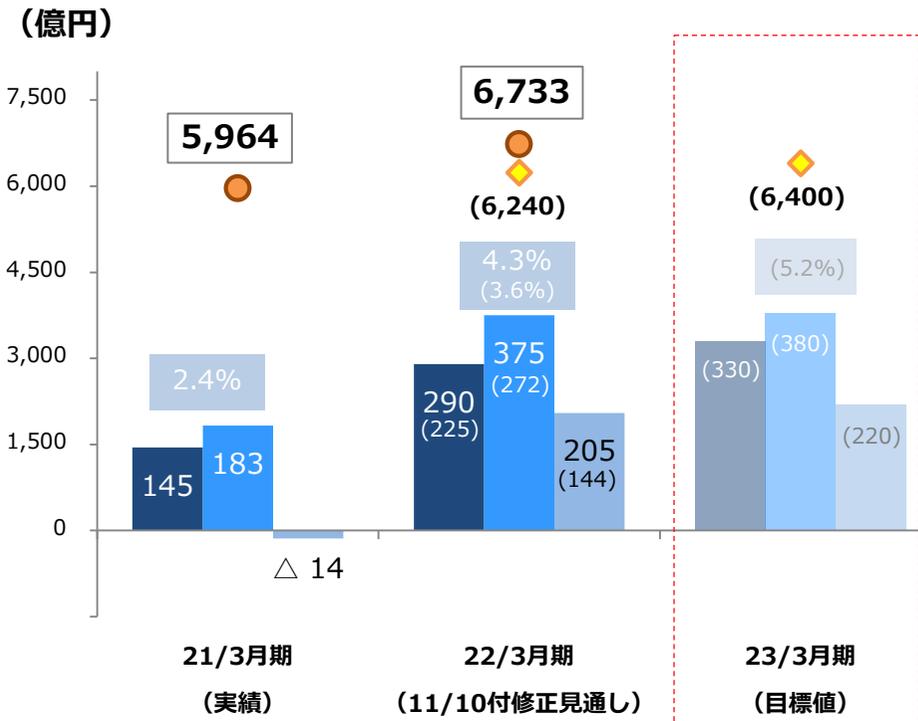


リバイバル2カ年計画

2022年3月期、2023年3月期を対象とした「リバイバル2カ年計画」を推進しています。また、“あるべき姿”として企業の総合的収益力を表すRoA(総資産純利益率)を体質強化指標として導入し、5%を将来的な目標値といたします。

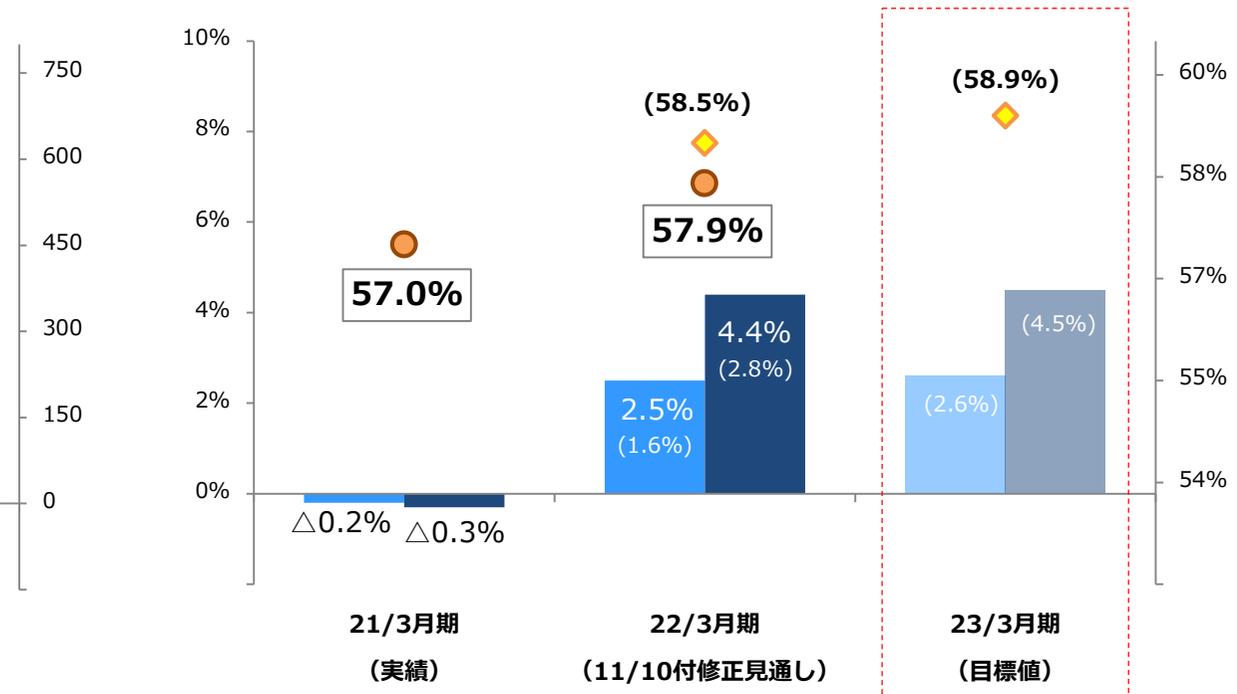
売上営業利益

- 営業利益
- 経常利益
- 親会社純利益
- 売上高
- ◆ 売上高(目標値)
- 営業利益率



経営指標

- RoA
- RoE
- 自己資本比率
- ◆ 自己資本比率(目標値)



※ () 内の数値は2021年5月のリバイバル2カ年計画策定時に立案した目標値です

2022年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別決算実績

※2022年3月期より、ロール事業はその他事業に含めた形での開示とさせていただきます。

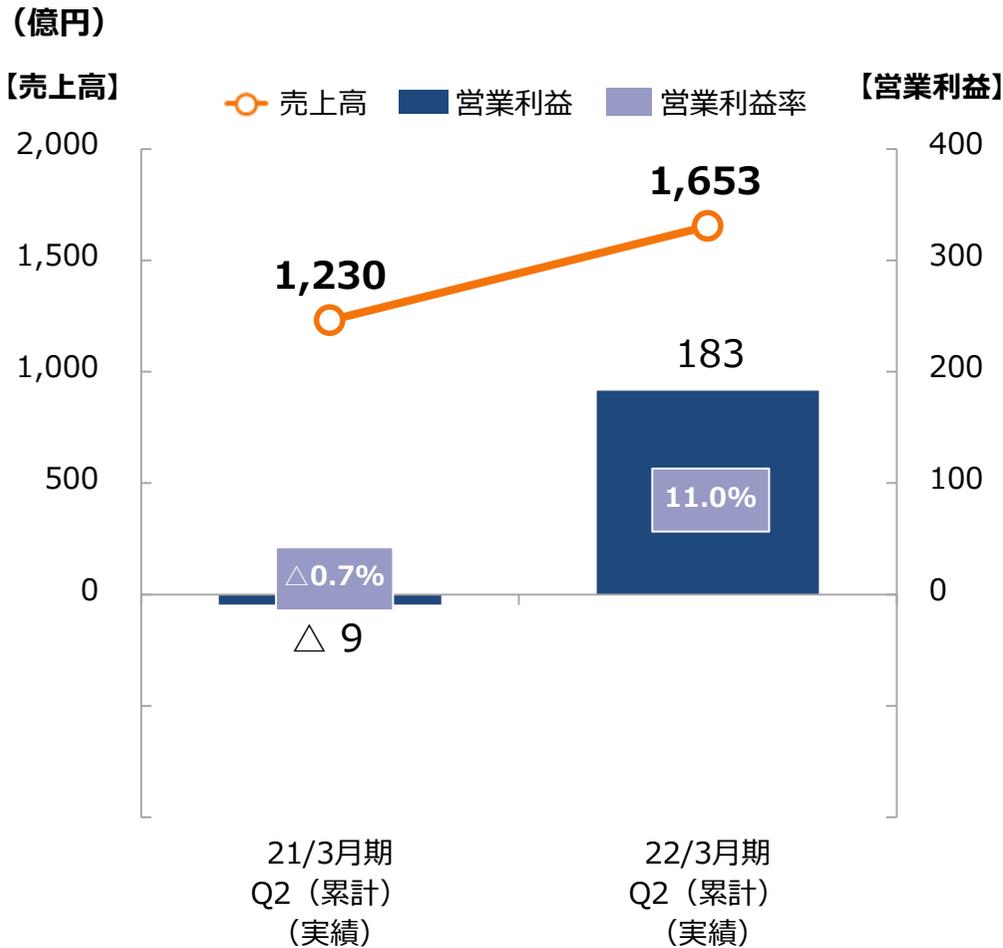


2022年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別決算実績

(億円)		21/3月期 実績 Q2 (累計)	22/3月期 実績 Q2 (累計)	前年同期比 増減	
				金額	率
シール事業	売上高	1,230	1,653	423	34.4%
	営業利益	△ 9	183	191	-
電子部品事業	売上高	1,224	1,461	237	19.3%
	営業利益	△ 72	△ 40	32	-
その他事業	売上高	98	129	32	32.3%
	営業利益	△ 6	6	12	-
合計	売上高	2,552	3,244	692	27.1%
	営業利益	△ 86	149	235	-

※ (参考) その他事業のうち、ロール事業の2022年3月期 第2四半期累計期間の実績は次の通りです 【売上高：85億円、営業利益：△2億円】

シール事業の決算実績【前年同期比】



22/3月期 第2四半期累計期間 実績

売上高 1,653億円 (前年同期比 +423億円)

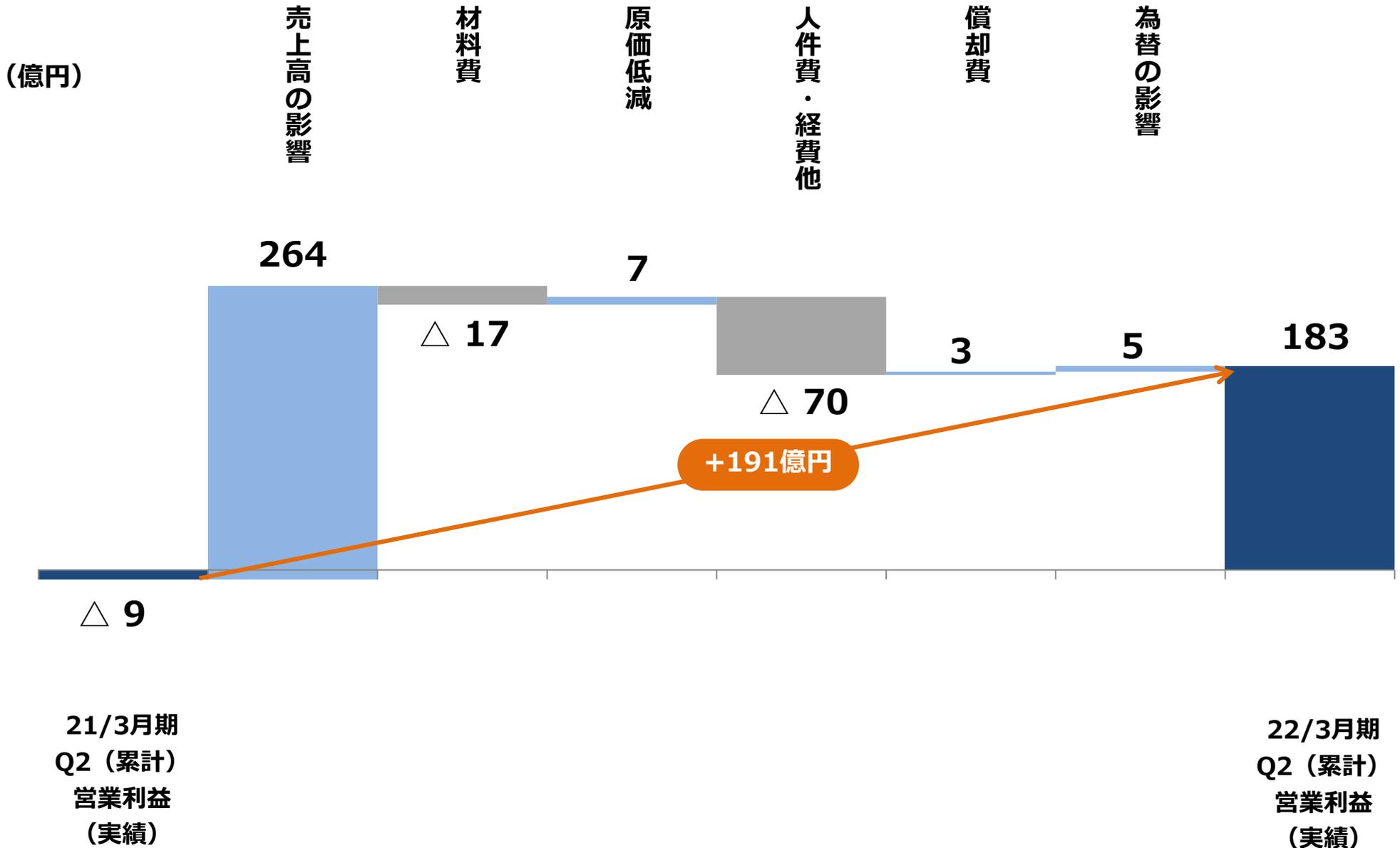
- 国内外での自動車向けの需要が回復
- 建設機械、工作機械、ロボット向けの需要が増加

営業利益 183億円 (前年同期比 +191億円)

- 販売の増加
- ⬇ 人件費・経費の増加

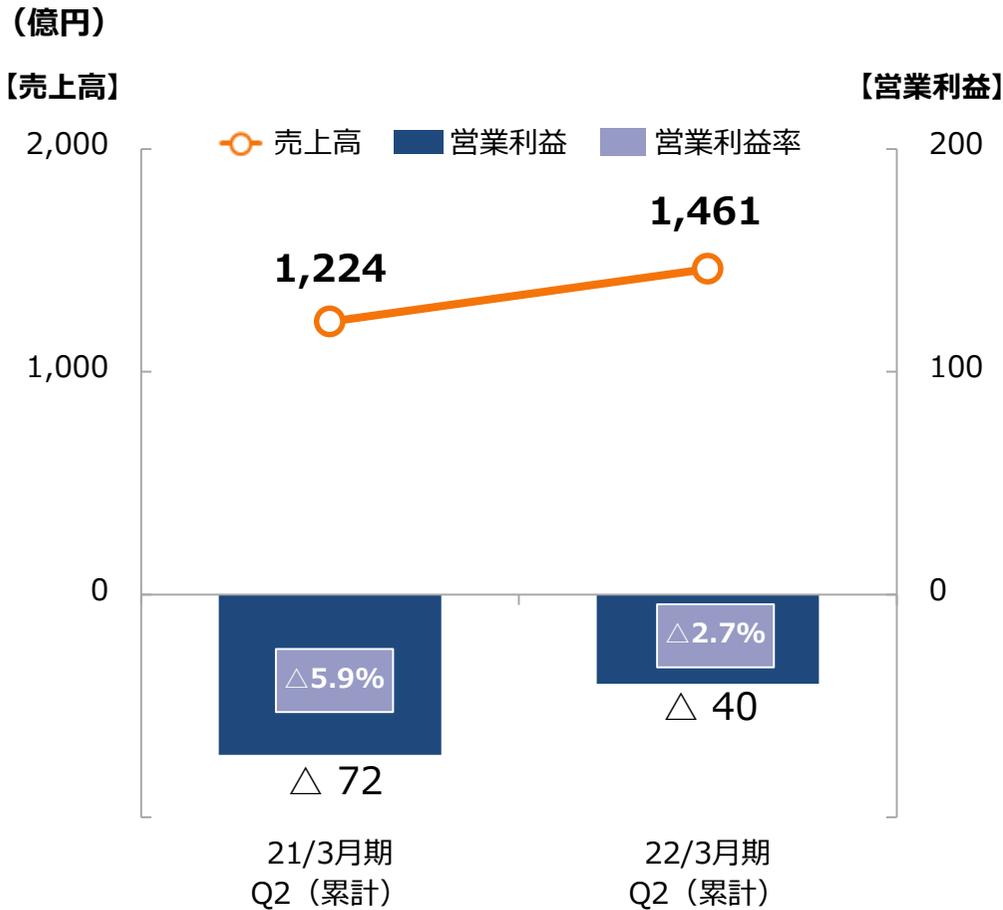
設備投資	72	85
減価償却	118	118
従業員数	21,131人	21,080人

シール事業：営業利益増減分析【前年同期比】





電子部品事業の決算実績【前年同期比】



22/3月期 第2四半期累計期間 実績

売上高 1,461億円 (前年同期比 +237億円)

- スマートフォン向けの販売が増加
- 自動車向けの需要が回復
- ハードディスク向けの需要が増加

営業利益 △40億円 (前年同期比 +32億円)

- 販売の増加
- 人件費・経費の増加

設備投資	60	83
減価償却	80	87
従業員数	15,992人	14,754人



電子部品事業：営業利益増減分析【前年同期比】

(億円)

売上高の影響

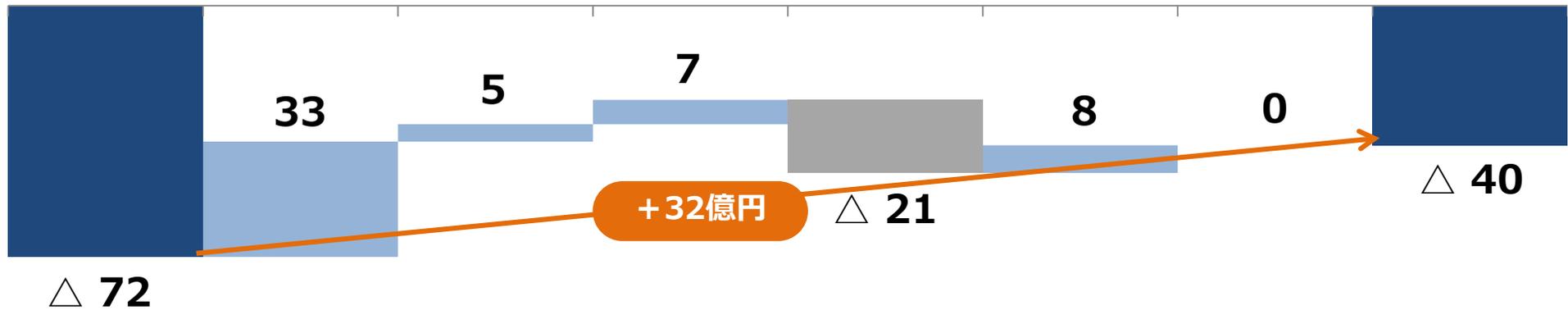
歩留り

原価低減

人件費・経費他

償却費

為替の影響



21/3月期
Q2 (累計)
営業利益
(実績)

22/3月期
Q2 (累計)
営業利益
(実績)

2022年3月期
セグメント別決算見通し



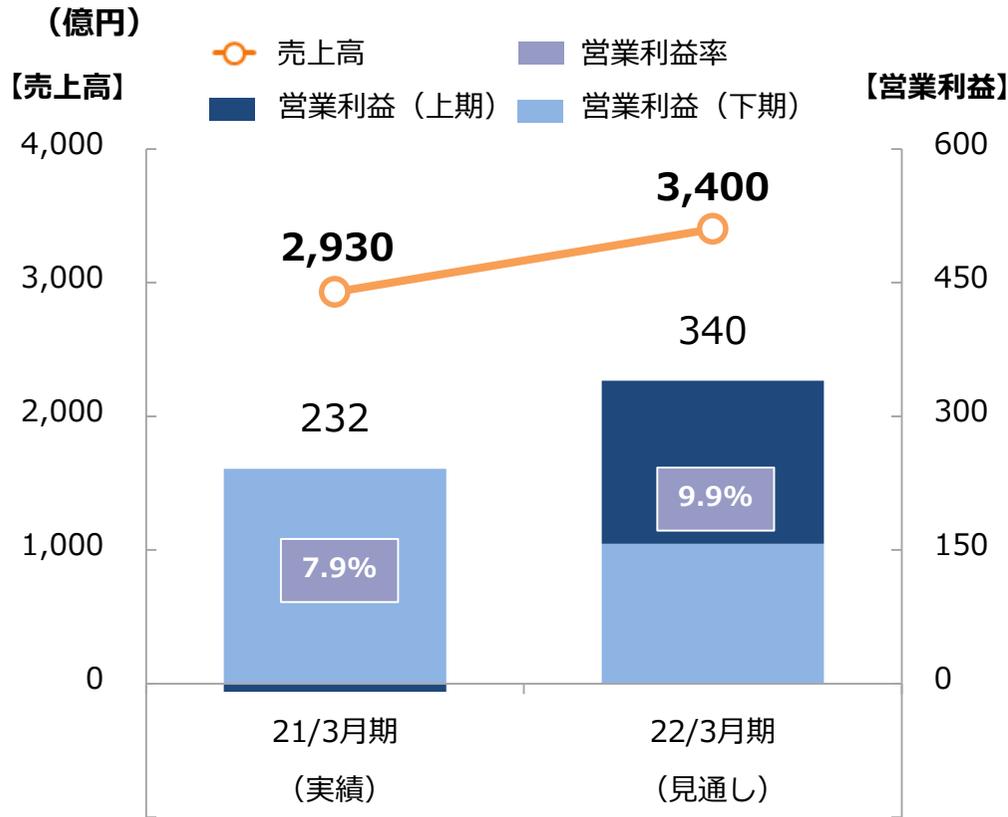
2022年3月期 セグメント別 決算見通し

(億円)	21/3月期			22/3月期			前年同期比増減						
	実績			実績 上期	11/10付 修正見通し		上期		下期		通期		
	上期	下期	通期		下期	通期	金額	率	金額	率	金額	率	
シール事業	売上高	1,230	1,700	2,930	1,653	1,747	3,400	423	34.4%	46	2.7%	470	16.0%
	営業利益	△ 9	240	232	183	157	340	191	-	△ 83	△ 34.5%	108	46.7%
電子部品事業	売上高	1,224	1,593	2,818	1,461	1,619	3,080	237	19.3%	26	1.6%	262	9.3%
	営業利益	△ 72	△ 12	△ 84	△ 40	△ 18	△ 58	32	-	△ 6	-	26	-
その他事業	売上高	98	118	216	129	124	253	32	32.3%	6	4.8%	37	17.3%
	営業利益	△ 6	2	△ 4	6	2	8	12	-	△ 0	△ 19.8%	12	-
合計	売上高	2,552	3,412	5,964	3,244	3,489	6,733	692	27.1%	78	2.3%	769	12.9%
	営業利益	△ 86	231	145	149	141	290	235	-	△ 89	△ 38.8%	145	100.4%

※「下期（見通し）」は、通期見通しから上期実績を引いたものです

※（参考）その他事業のうち、ロール事業の2022年3月期の通期見通しは次の通りです 【売上高：167億円、営業利益：△6億円】

シール事業の決算見通し【前期対比】



22/3月期 通期 見通し

売上高 3,400億円 (前期比 +470億円)

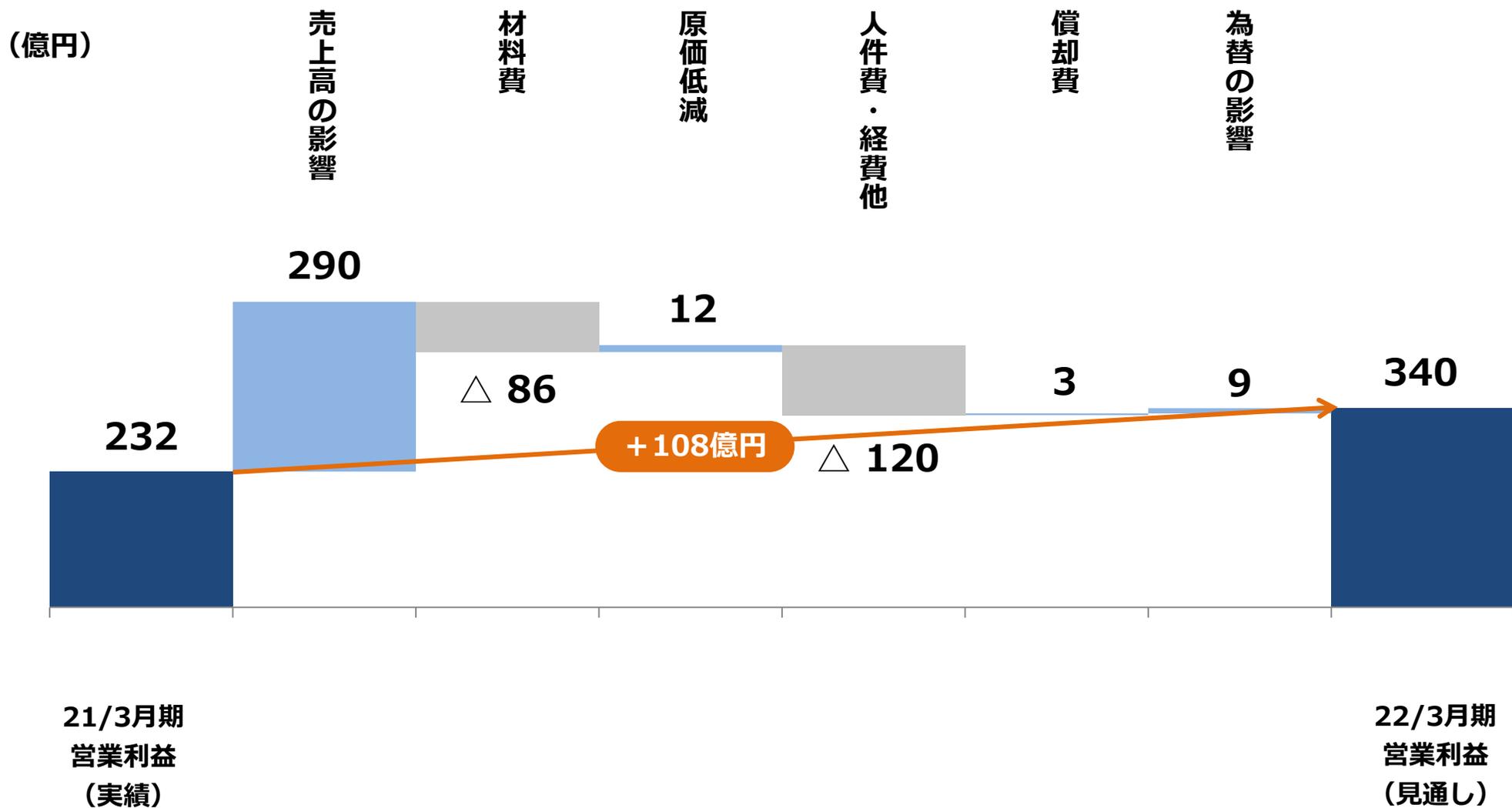
- ↗ 自動車向けの販売が回復
- ↗ 建設機械向けの販売が堅調に推移
- ↘ 半導体の供給懸念、東南アジアでのコロナ拡大影響で自動車需要が先行き不透明

営業利益 340億円 (前期比 +108億円)

- ↗ 販売の増加
- ↘ 人件費・経費の増加
- ↘ 材料費の高騰

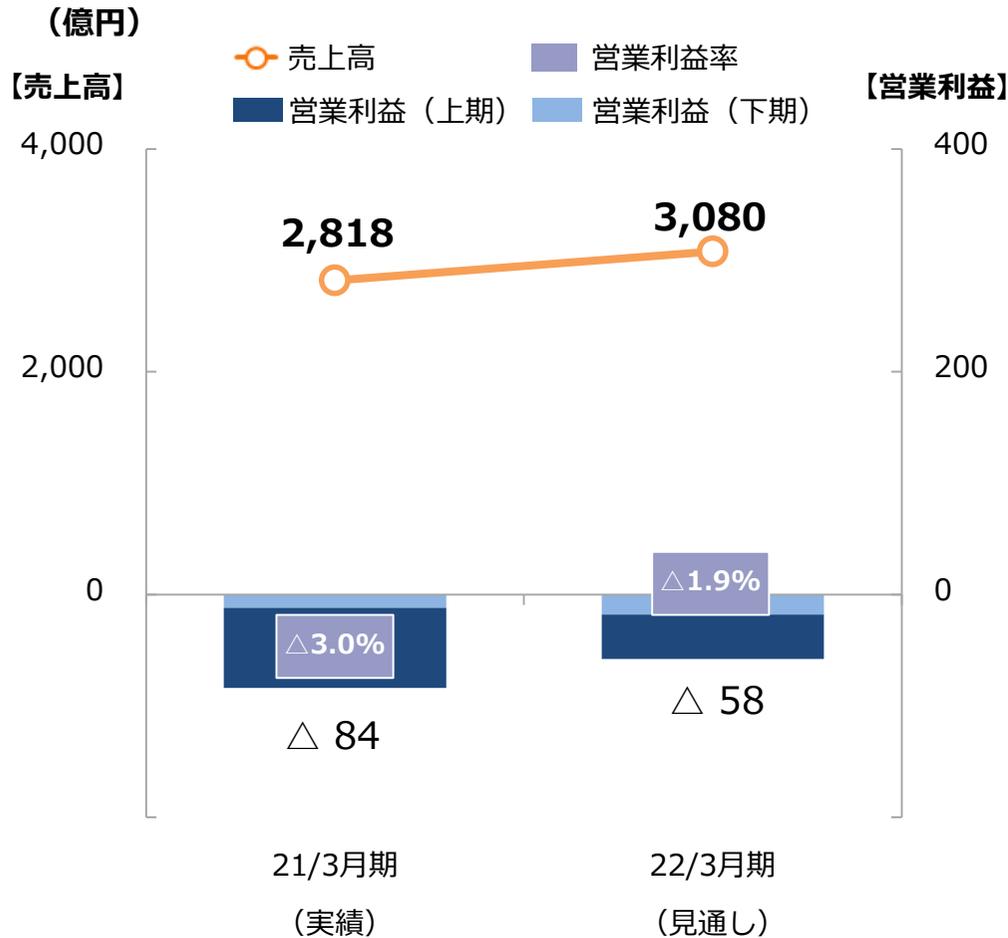
設備投資	137	246
減価償却	239	239
従業員数	21,120人	21,106人

シール事業：営業利益増減分析【前期対比】





電子部品事業の決算見通し【前期対比】



22/3月期 通期 見通し

売上高 3,080億円 (前期比 +262億円)

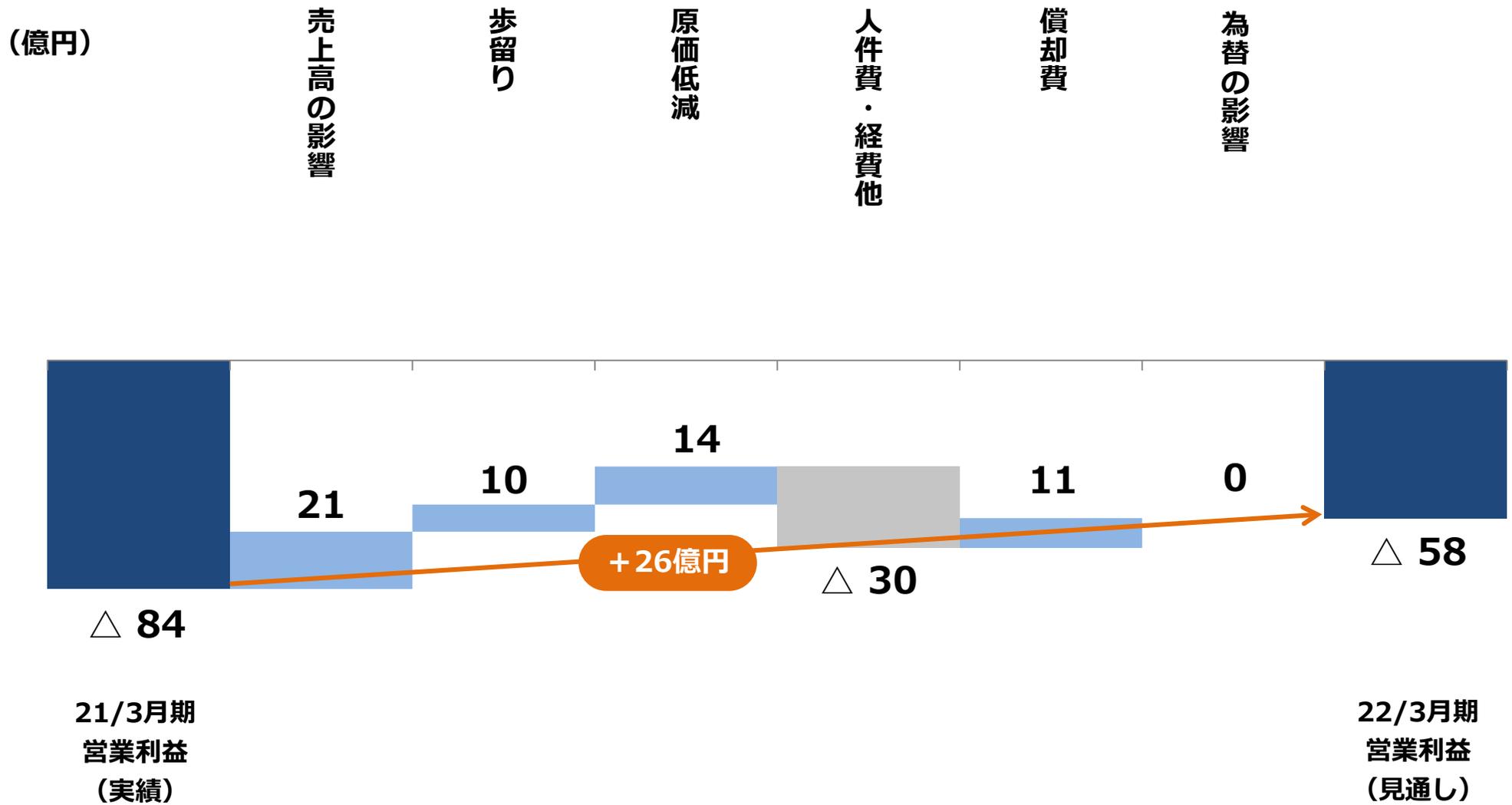
- 高性能スマートフォン向けの需要が増加
- 自動車向けの販売が堅調に増加
- ハードディスクドライブの需要が増加

営業利益 △58億円 (前期比 +26億円)

- 販売の増加
- 原価低減、歩留り改善の効果
- 償却費の減少
- 人件費・経費の増加

設備投資	114	165
減価償却	157	178
従業員数	14,910人	14,392人

電子部品事業：営業利益増減分析【前期対比】





Copyright (c)
NOK CORPORATION All rights reserved.

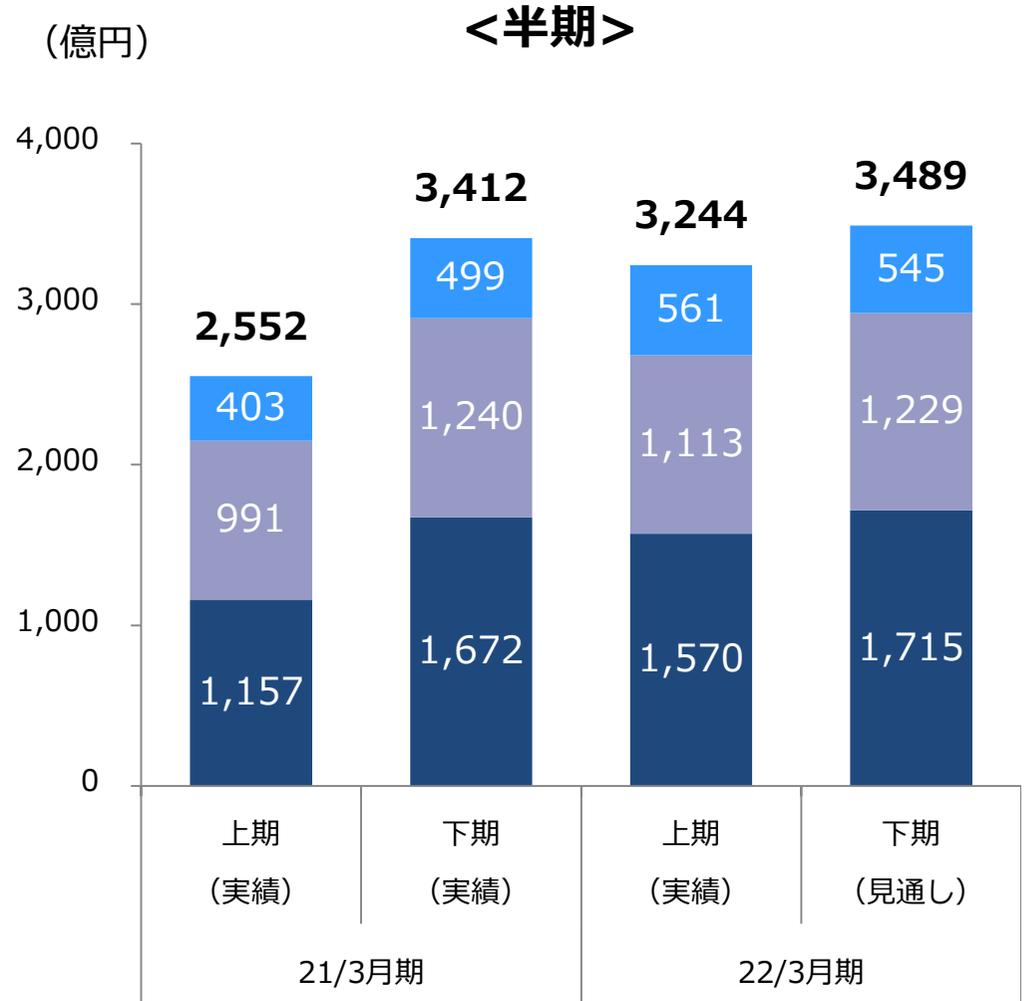
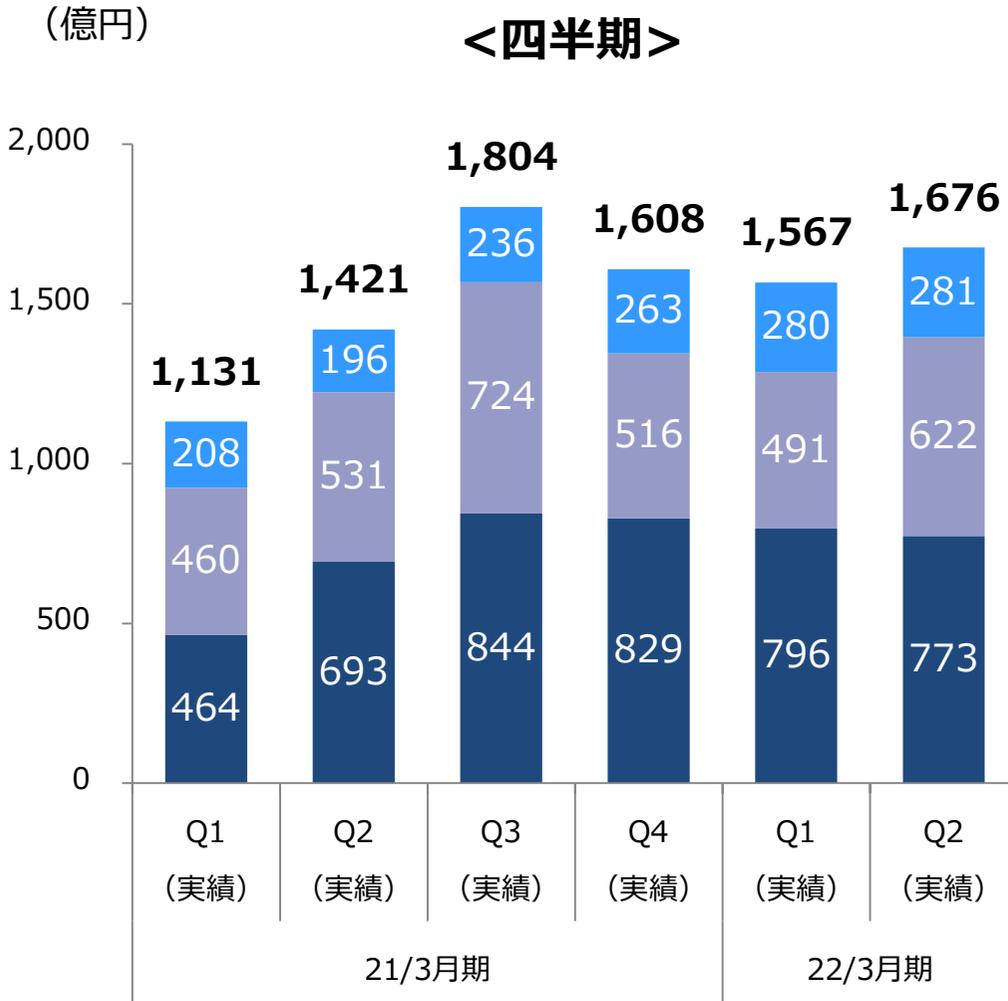
業種別・所在地別事業概況





業種別：連結売上高推移

■ 自動車 (AI) ■ 電子機器 (EI) ■ 一般産業機器 (GI)

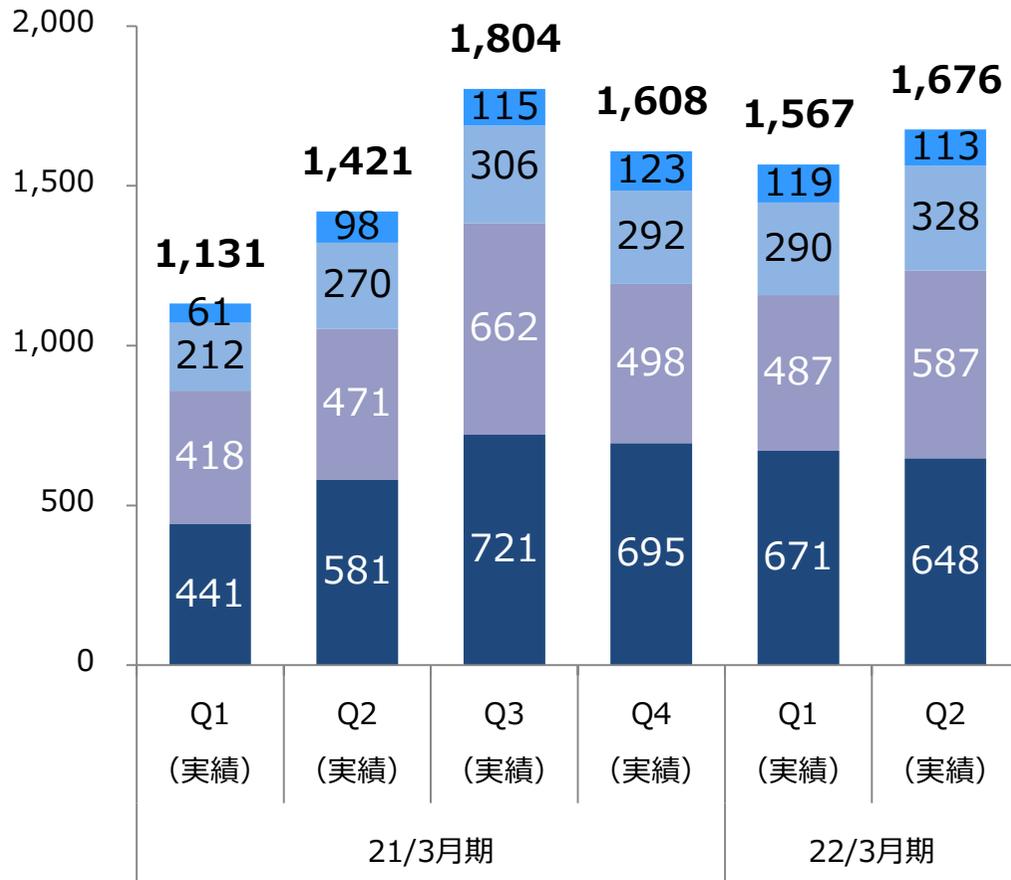


所在地別：連結売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

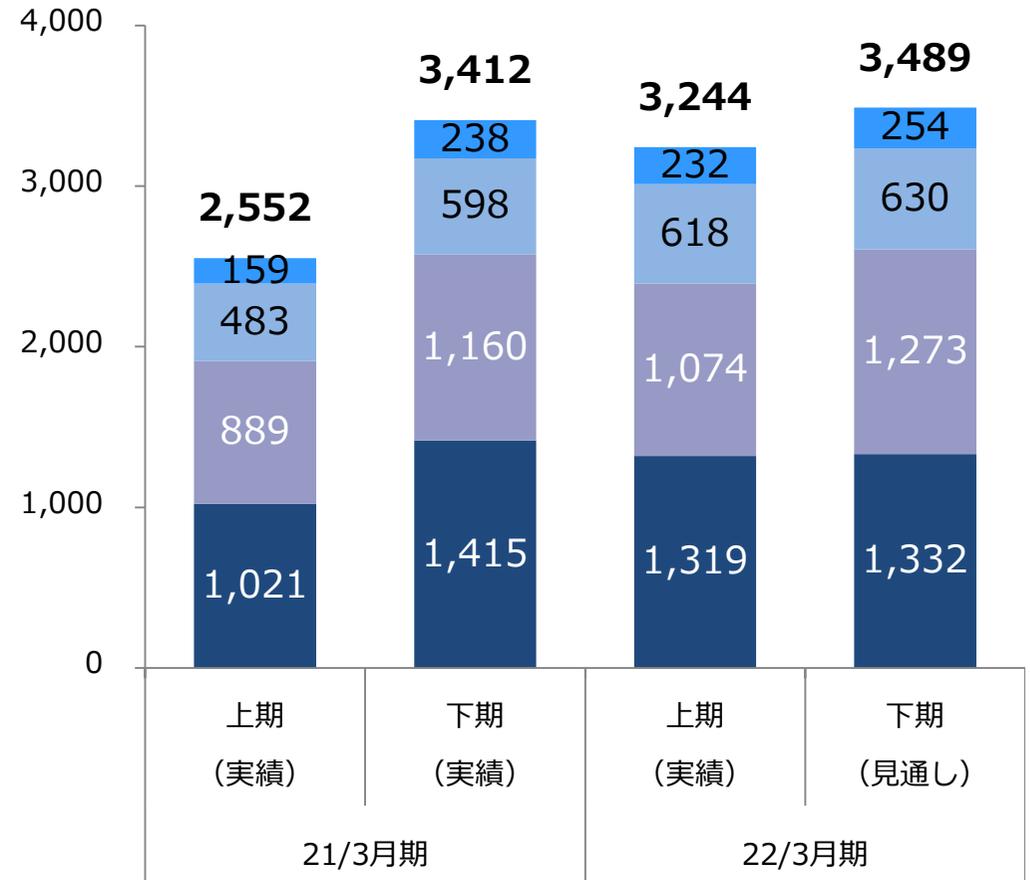
(億円)

<四半期>



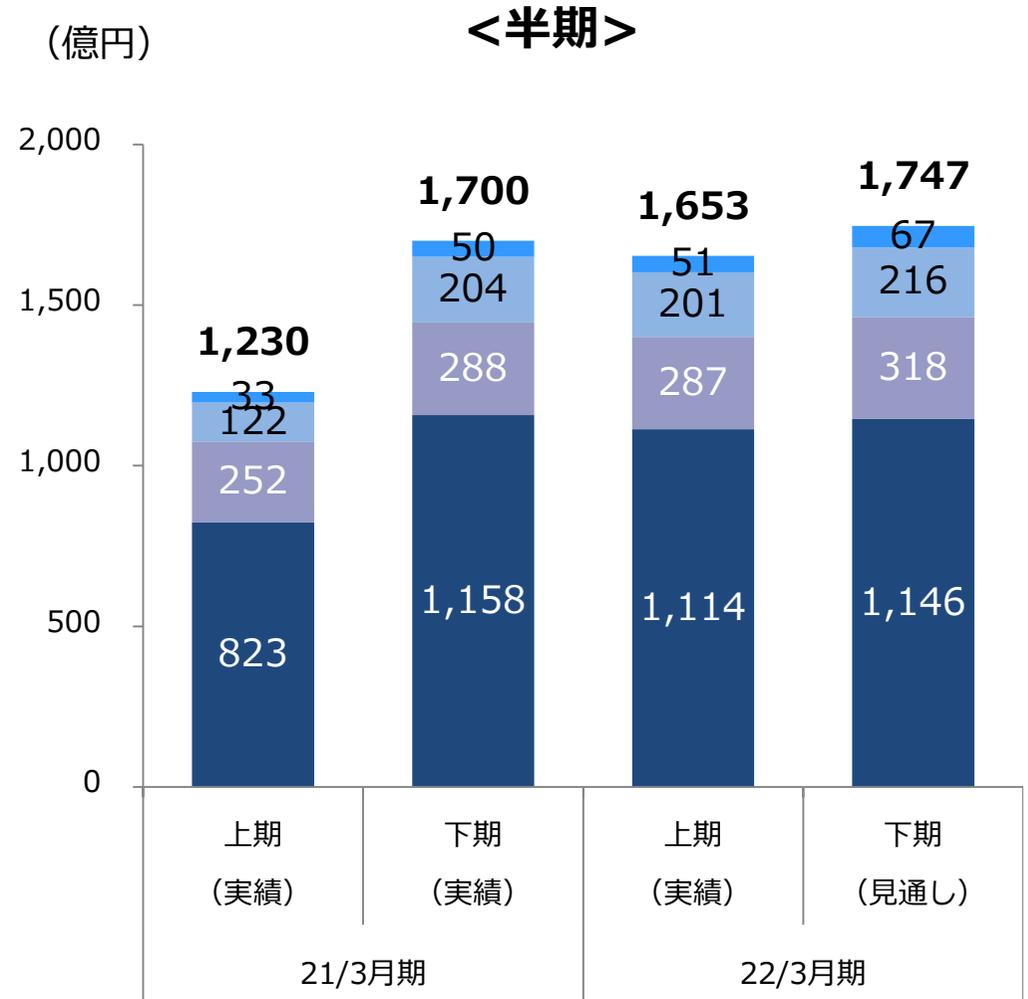
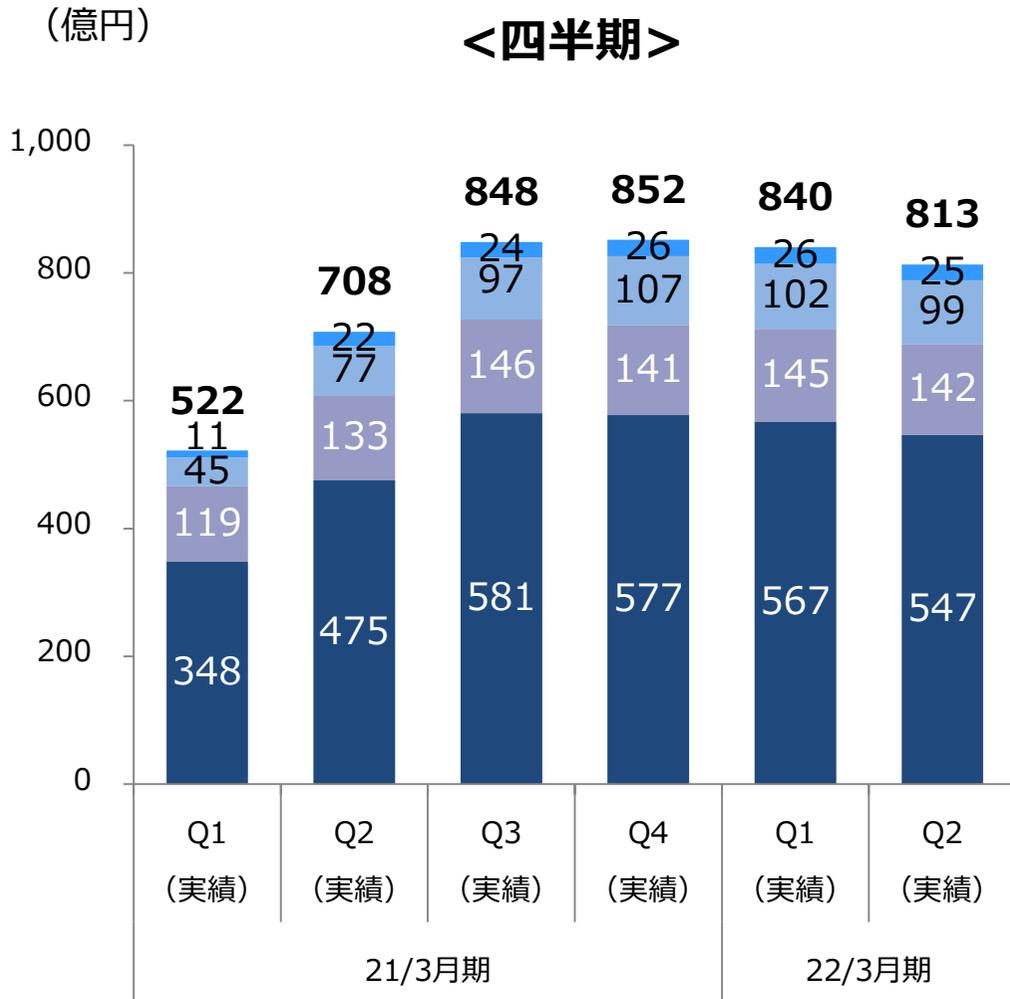
(億円)

<半期>



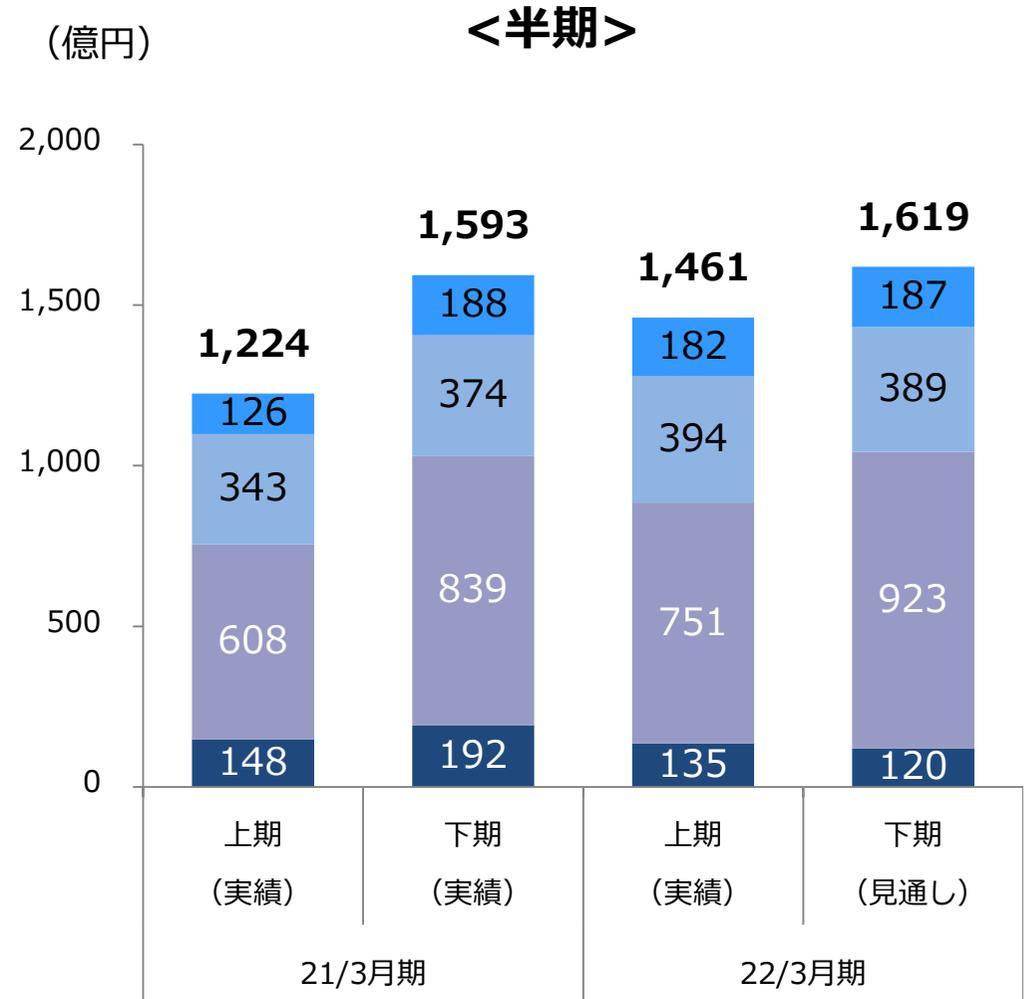
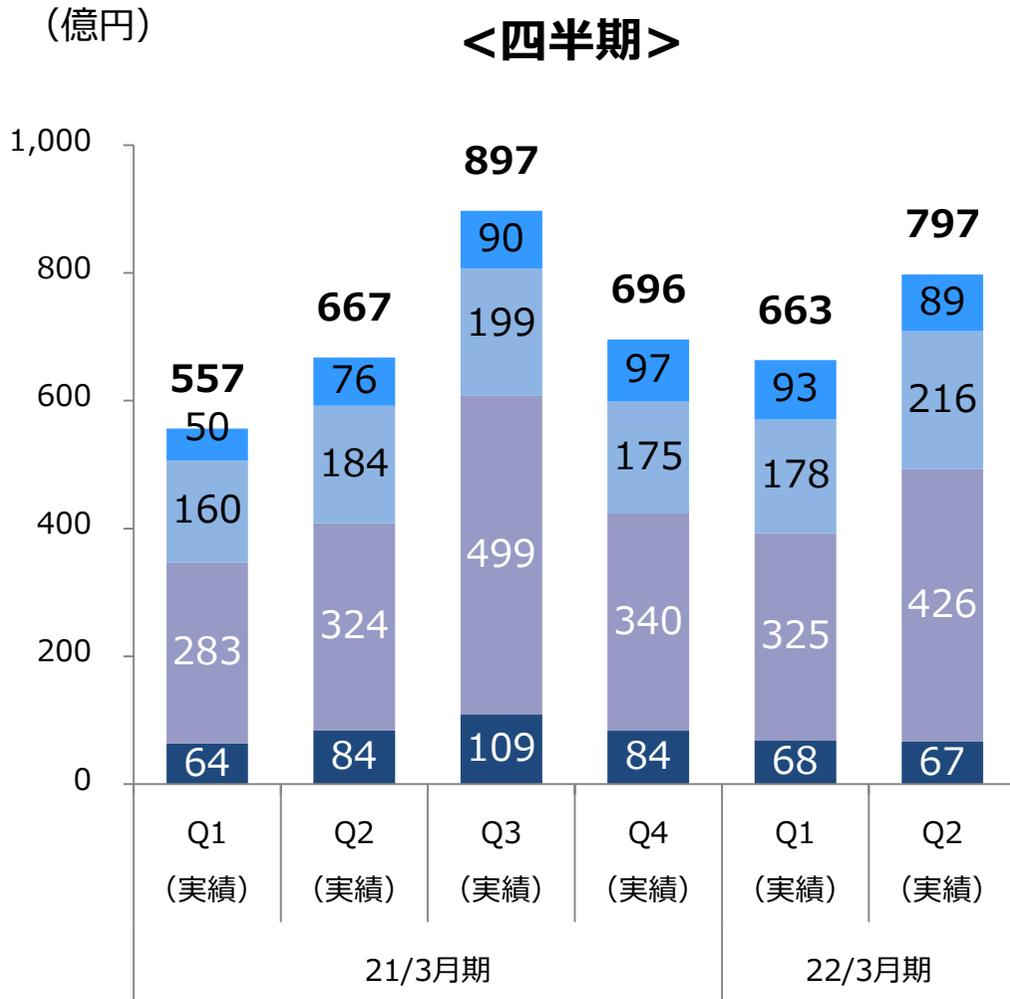
所在地別：シール事業売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他



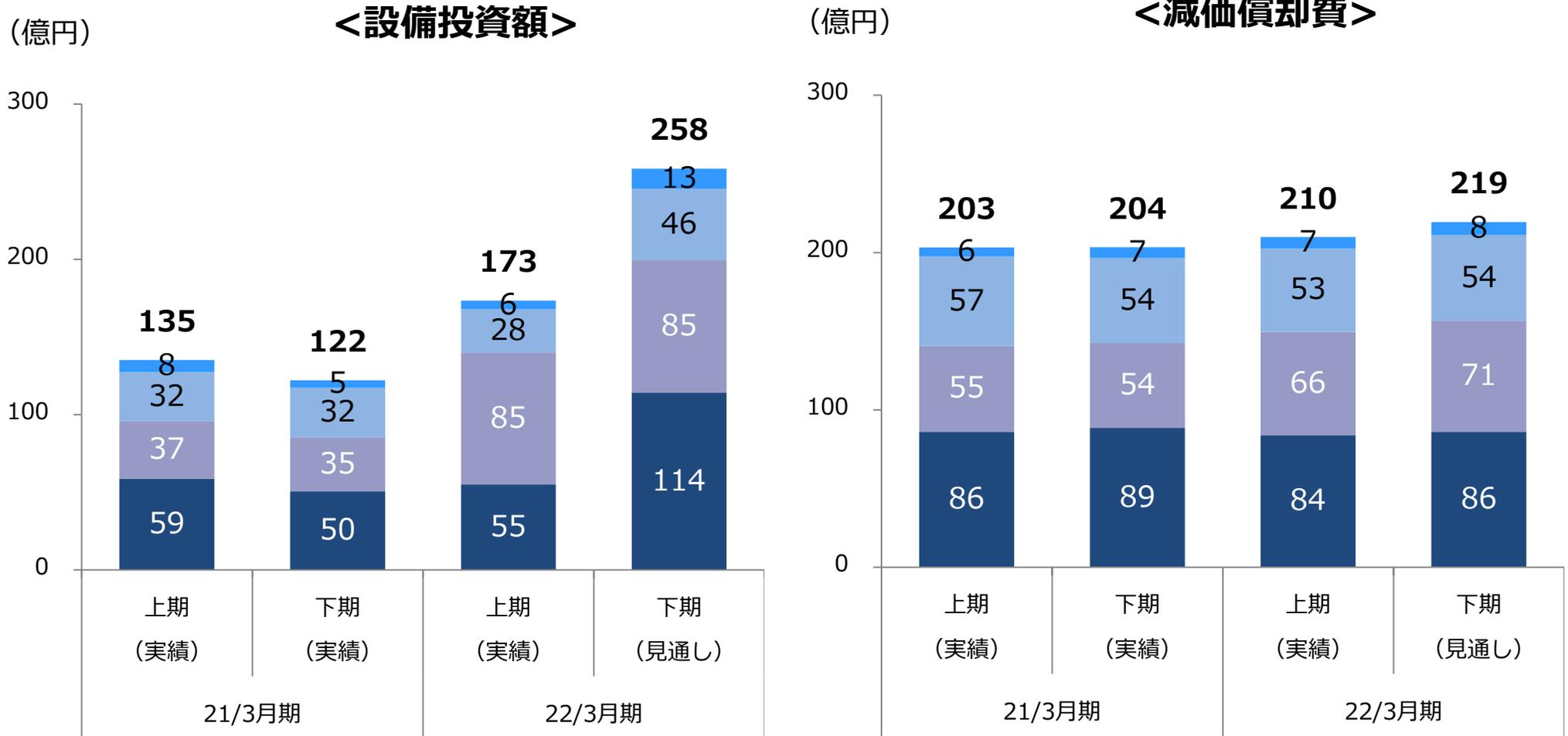
所在地別：電子部品事業売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他



所在地別：設備投資額および減価償却費推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ 欧米



※ 「下期 (見通し)」は、通期見通しから上期実績を引いたものです

※ 設備投資には無形固定資産の取得を含んでいます

參考資料

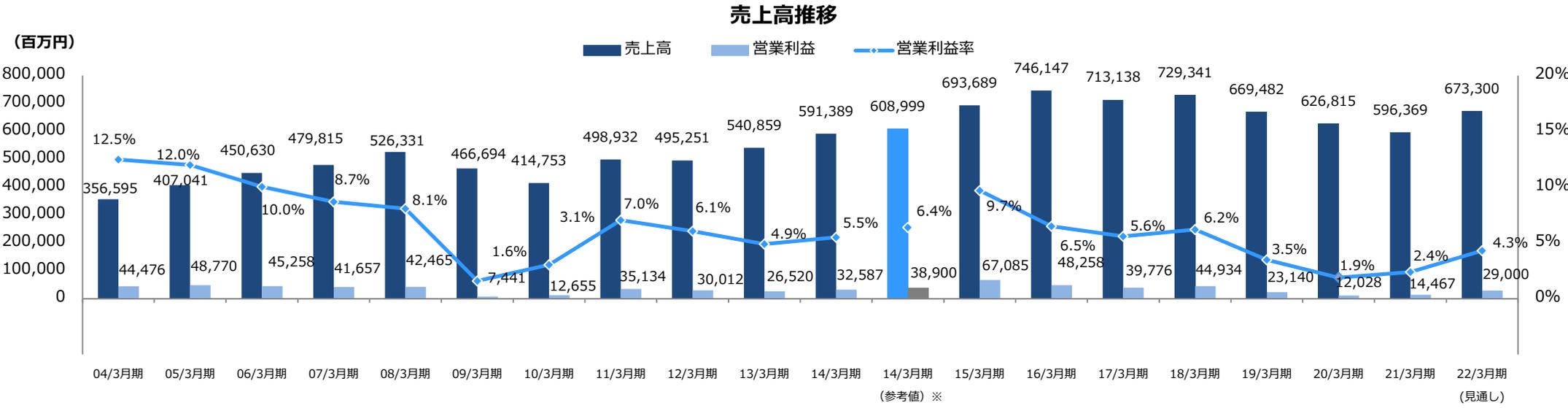
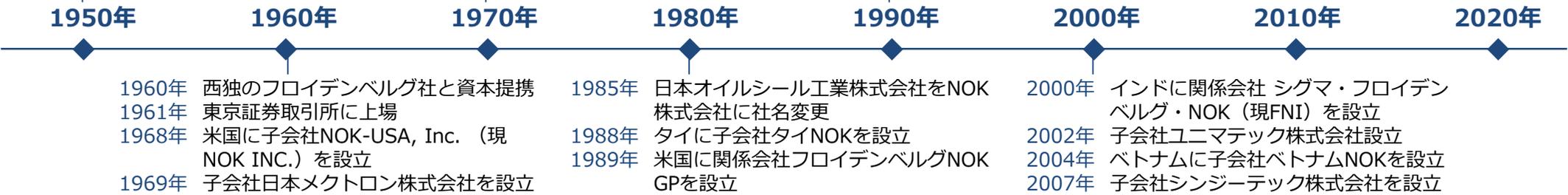


沿革

1939年 江戸川精機株式会社設立
 1941年 神戸に日本ベアリング製造株式会社を設立
 1951年 東京オイルシール工業株式会社と日本油止工業株式会社が合併し、日本オイルシール工業株式会社に社名変更

1976年 子会社NOKクリューバー株式会社を設立
 1978年 韓国の平和オイルシール工業株式会社に資本参加

1995年 中国に子会社無錫恩福油封有限公司を設立
 1996年 インドネシアに子会社NOKインドネシア、シンガポールに子会社NOKアジアを設立



※15/3月期より、海外事業の決算期統一及び減価償却方法を変更したため、参考値として使用しております



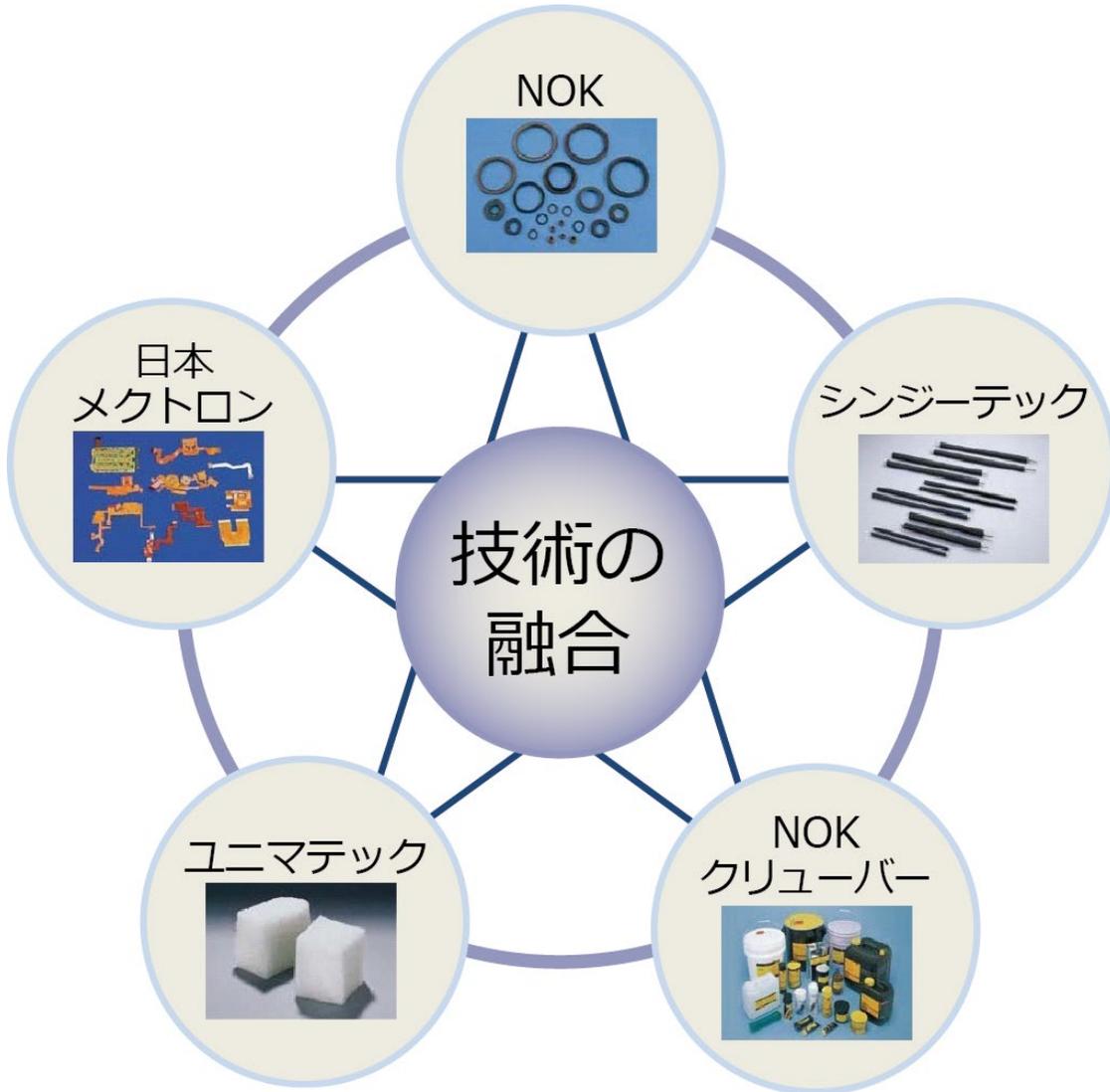
》》》 主要なグループ生産拠点



Japan



- NOK株式会社
- 日本メクトロン株式会社
- シンジーテック株式会社
- NOKクリューバー株式会社
- ユニマテック株式会社



NOKグループ各社は、コア技術が融合しあう企業集団として、一企業の各部門の関係のような《複合技術メーカーグループ》を形成しています。それぞれが個性と誇りをもって同じ夢に向かい、あらゆるニーズに応える事業を展開しています。



湘南開発センターは、NOKのあらゆる先進技術を集約させ、開発スピードを上げることを目的に設立されました。部門間の垣根を取り払い、製品設計から出品検査までを一貫して行う自己完結型の開発体制を整えています。研究開発および生産技術の融合を積極的に進め、他にまねのできない独自の最新技術、製品を誕生させています。

POINT

あらゆる最先端技術が結集した「頭脳」拠点となり、**世界No.1の技術創出**に挑み続けるNOK湘南開発センターは、2005年に開所しました。材料技術・評価解析技術、生産技術の機能を有する、自己完結型の業務遂行可能なセンターとなっています。NOKは、社会からの要求に応え、生活の利便性や環境に貢献できる製品を世に送り出すため、更なる技術開発に取り組んでまいります。

》》 NOKの主要製品：オイルシール

オイルシールとは、オイル（油）をシールする（封じる）機能部品です。回転や上下動など、機械の“動く”部分において、潤滑油をはじめ、水、薬液、ガスなどが漏れるのを防ぐと同時に、外部からのほこりなどの侵入を防ぐ働きをしています。車、船、飛行機、エアコン、洗濯機、水道などに使用され、幅広い機械類で不可欠な部品になっています。

（使用例）



POINT

NOKの歴史はオイルシールの歴史です。日本でNo.1のオイルシールメーカーへの発展の礎は、1960年、西ドイツ(当時)のカール・フロイデンベルグ社との技術提携に始まります。その後、日本の自動車メーカー1社のみが進出しているだけの時代に、いち早くアメリカに生産工場を置き、BIG3(ビッグ3)にオイルシールを供給するに至りました。今日、信用と実績を認められ、**国内70%、世界トップシェア**を誇ります。

》》 NOKの主要製品：フレキシブルプリント基板

フレキシブルプリント基板（FPC）は、フィルムをベースとした柔軟性のある回路基板です。このFPCという機能部品のおかげで、コンパクトで高機能なスマートフォンが実現しました。その用途は、スマートフォンに留まらず、HDD、デジタルカメラやタブレットPCなど多岐にわたります。

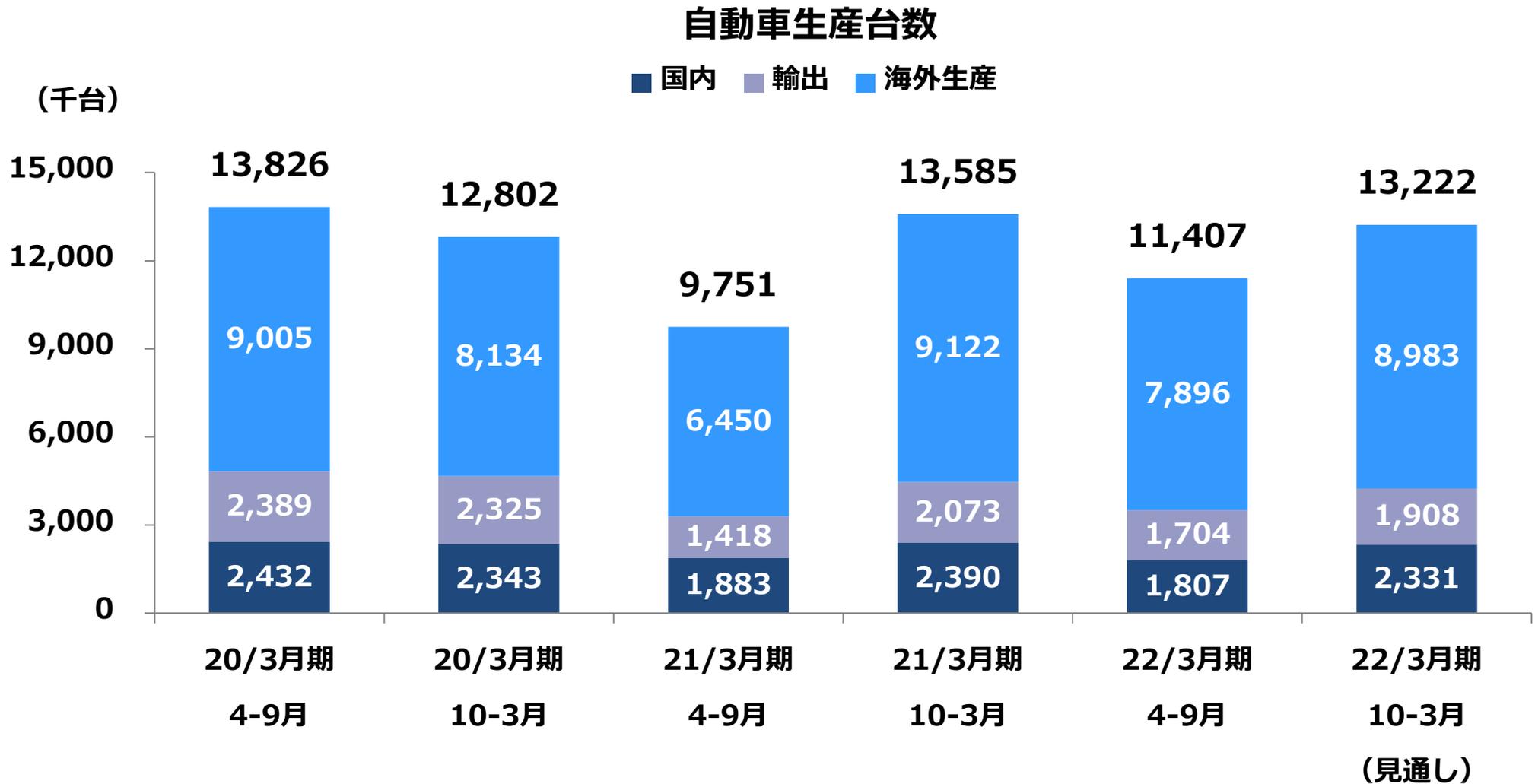
（使用例）



POINT

NOKのグループ会社である、日本メクトロンのエレクトロニクス事業です。薄く、柔軟性のあるこの回路基板が、スマートフォンなどに使われています。薄く、軽く、柔軟性があるという特性をもつフレキシブルプリント基板は、今後ますます機能の向上が期待されています。**国内シェア、世界シェアともにトップクラス**です。

業種別市場動向：自動車生産台数推移（半期）



※海外生産は、ノックダウン台数に海外で生産される完成車台数を付加したものです

出所：NOK推定



一般産業機器でみるNOK製品

ソーラーパネルに

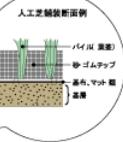
■ソーラーパネル用ゴムガスケット



NOK独自の材料配合技術により仕様に合わせた材料のご提案をします。

人工芝、競技場トラックに

■ゴムばりリサイクル



ゴム部品の製造時に発生する耐油性や耐熱性を持つゴム端材のリサイクルです。

水道、給湯などの配管に

■O-リング



給湯、水道・ガスメーター、燃料電池、水栓金具、浄水器・浄水器などのあらゆる使用条件に対応し得るNOK独自の材料配合技術が生かされています。

井戸水汲み上げなど ホームポンプに

■メカニカルシール



精度の高い平坦面に仕上げられた摺動面により、長期間メンテナンスフリーで使用でき、性能やランニングコスト面で非常に優れています。

エアコン、IHクッキングヒーター、電子レンジ、冷蔵庫に

■サーモバイル



非接触温度計測が可能なセンサで、省エネ等に有効です。

家庭用小型風力発電に

■オイルシール ■O-リング ■防振ゴム



確かな信頼と豊富な実績を持つ部品をご提案致します。

パワーコントロールユニット & 二次電池に

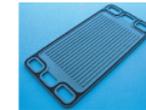
■キャパシタ用封閉板 ■電磁波シールド(EMガード)



使用部位・環境・条件に応じた部品をご提案します。

燃料電池に

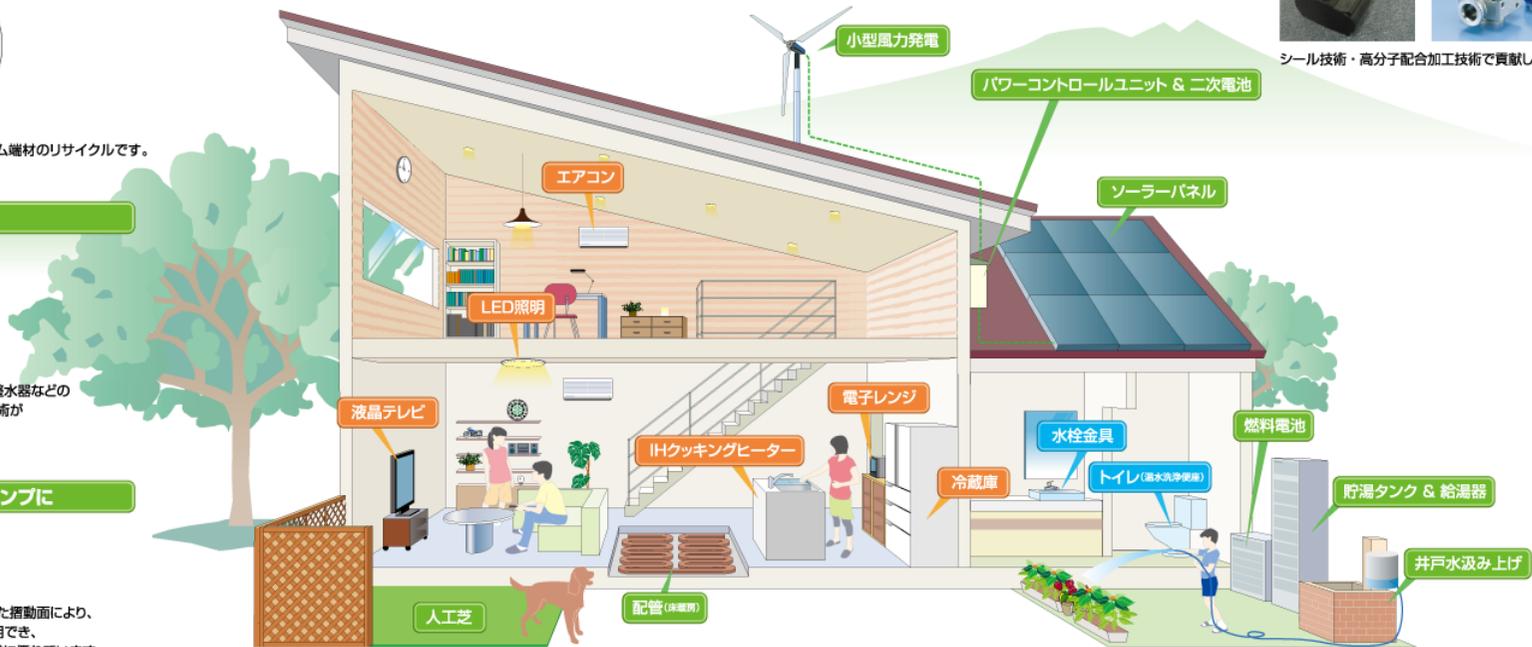
■セルシール ■GDL



■加湿膜モジュール ■バルブ



シール技術・高分子配合加工技術で貢献します。



潤滑剤



極高温、極低温、高速、高荷重などの過酷な条件下でも信頼性の高い長寿命潤滑剤です。燃料電池、家電製品、配管などに利用されます。

温水洗浄便座、シャワー、水栓器具、ガスメーターに

■流量調整バルブ、湯水混合バルブ、圧力制御バルブ



シール技術とアクチュエータ技術を融合し、水・ガス・特殊流体などの圧力・流量制御が可能です。

LED照明、携帯電話、液晶テレビに

■FPC

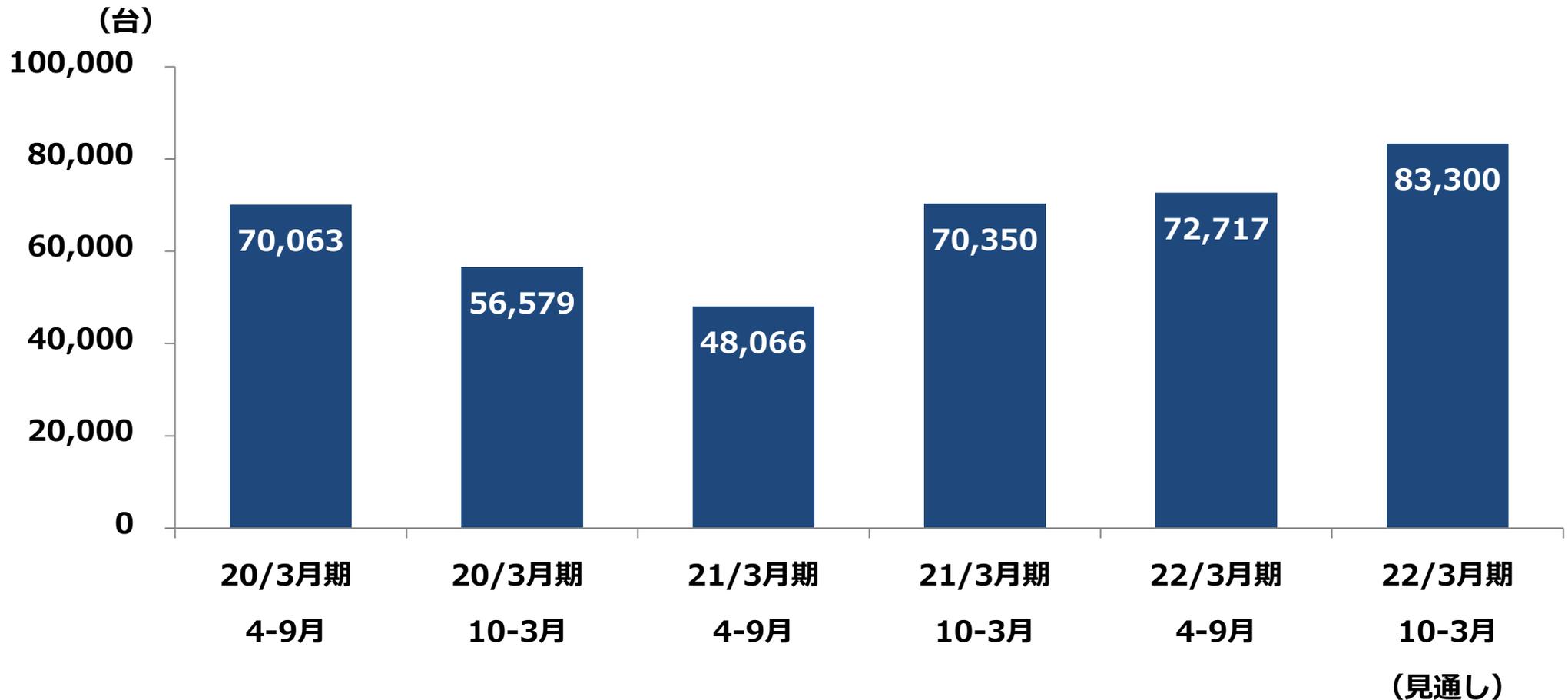


新しい技術で携帯機器・電子機器の小型・高性能化に貢献します。



業種別市場動向：建機国内生産台数推移（半期）

建機国内生産台数



出所：NOK推定

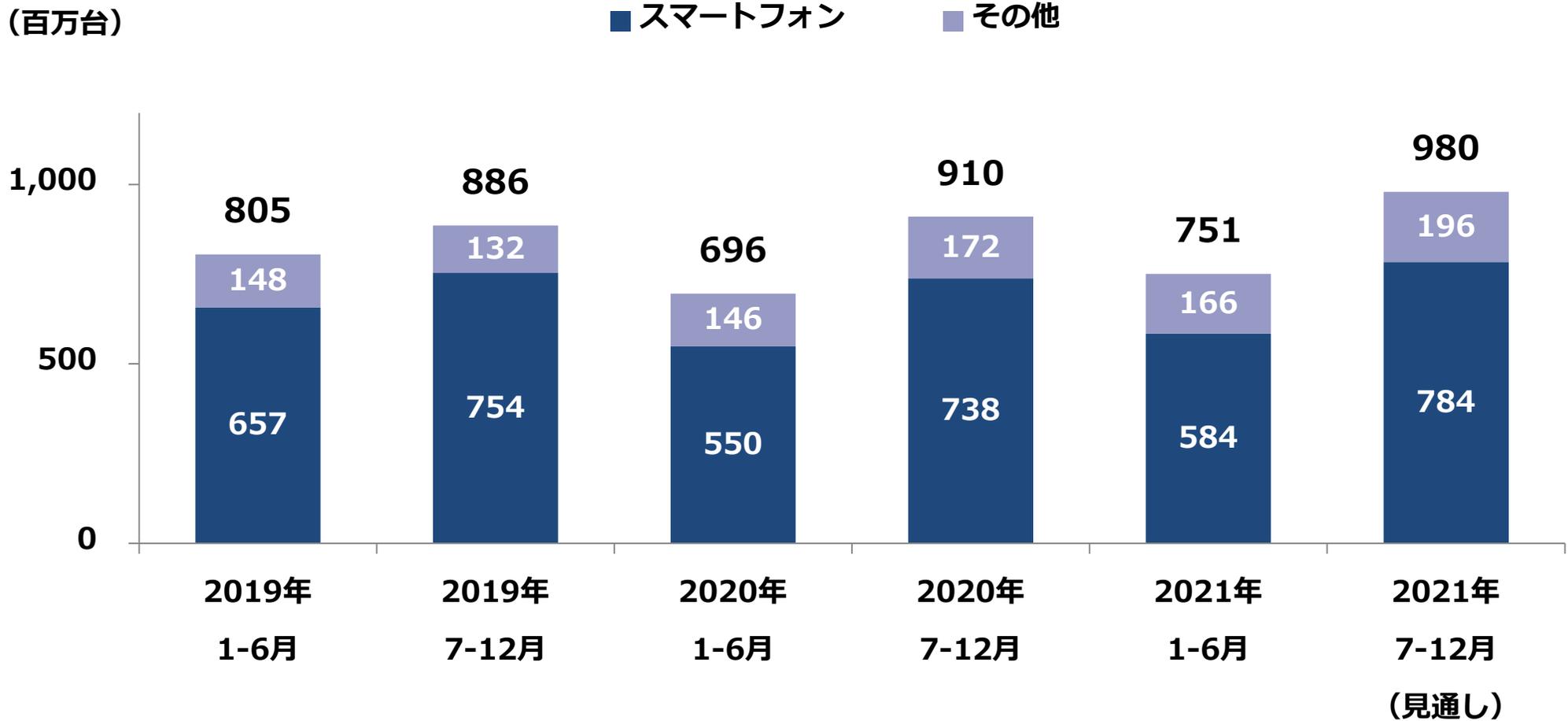
情報電子機器でみるNOK製品



世界でトップクラスのシェアを誇るフレキシブルプリント基板（FPC）は、最先端の電子機器に幅広く使われています。また、高度な技術によって作られた多層フレキシブルプリント基板（フレクスボード）は、情報電子機器の小型・高性能化に欠かせない存在となっています。

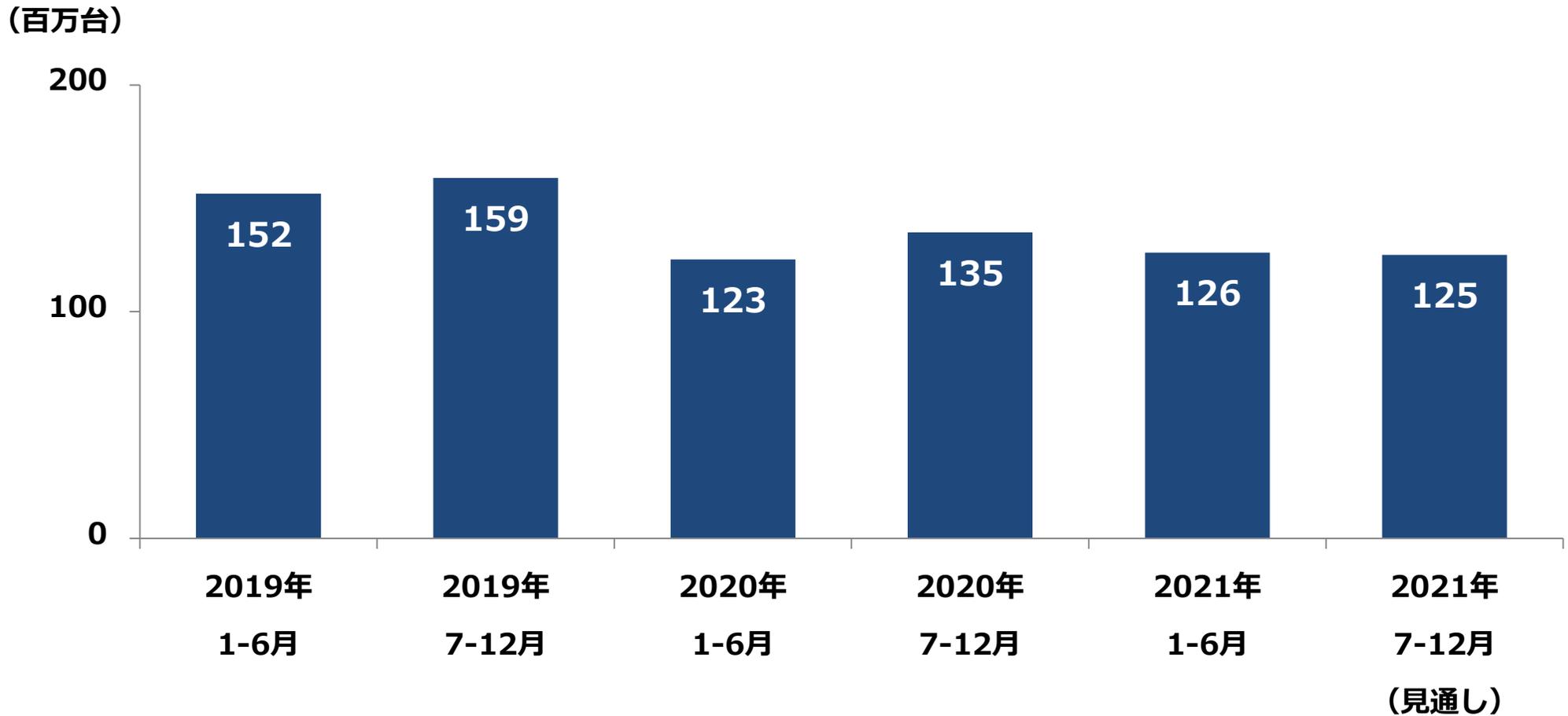
業種別市場動向：携帯電話出荷台数（半期・暦年）

携帯電話出荷台数



出所：NOK推定

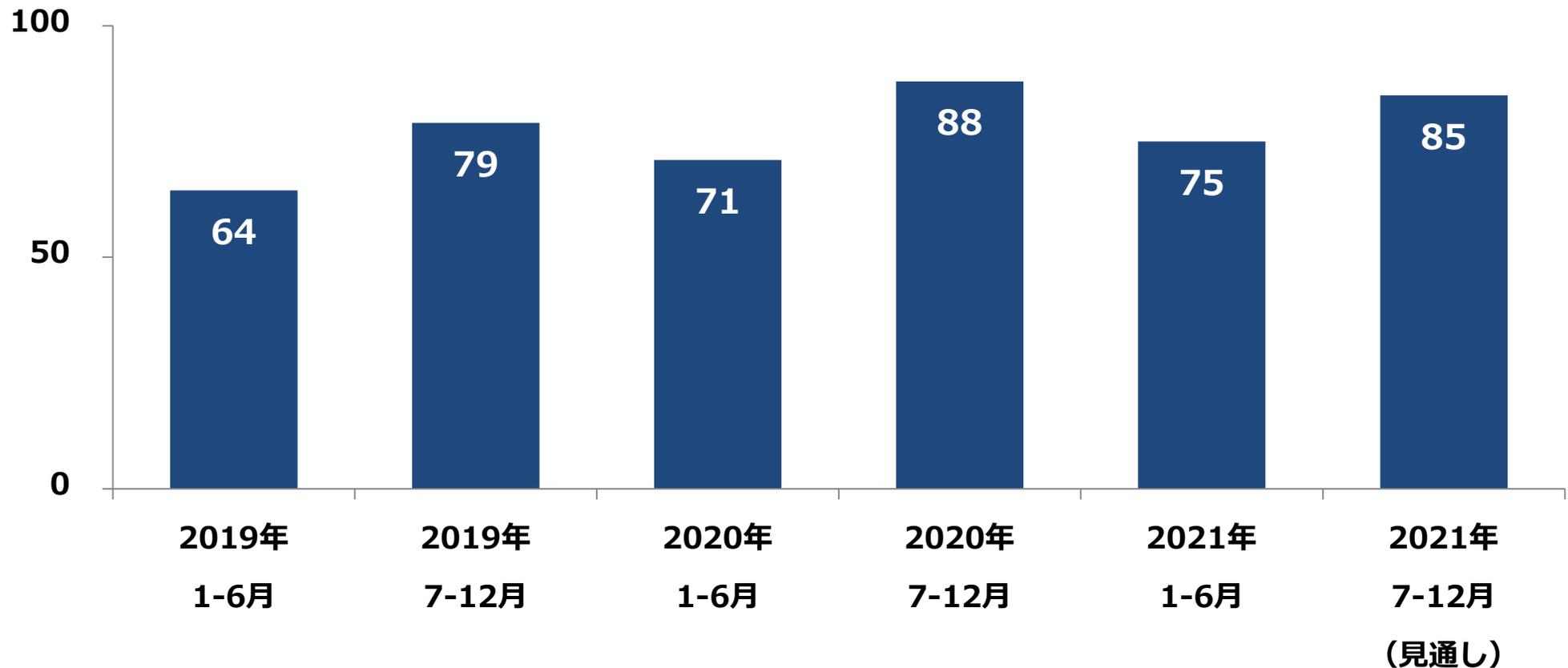
HDD生産台数



出所：NOK推定

タブレットPC出荷台数

(百万台)



出所：NOK推定

セグメント(事業区分別)情報 2021年3月期実績、並びに2022年3月期見通し

(単位:百万円)

事業区分	項目	2021年3月期 実績			2022年3月期見通し								
		上期	下期	通期	上期	前年 同期比	伸び率	下期	前年 同期比	伸び率	通期	前年 同期比	伸び率
シール	外部売上高	122,994	170,028	293,023	165,342	42,348	34.4%	174,658	4,630	2.7%	340,000	46,977	16.0%
	セグメント間売上	702	1,234	1,936	1,121	419		1,152	△82		2,273	337	
	売上高	123,696	171,262	294,959	166,464	42,768		175,809	4,547		342,273	47,314	
	営業利益	△854	24,038	23,183	18,257	19,111	-	15,743	△8,295	△34.5%	34,000	10,817	46.7%
	利益率	△0.7%	14.0%	7.9%	11.0%	11.7pt		9.0%	△5.1pt		9.9%	2.1pt	
	資本的支出	7,210	6,443	13,653	8,451	1,241		16,165	9,722		24,616	10,963	
	減価償却費	11,771	12,108	23,879	11,763	△8		12,171	63		23,934	55	
	人員(生産性)(人)	21,131	21,120	21,120	21,080	△51		21,106	△14		21,106	△14	

電子 部品	外部売上高	122,434	159,336	281,771	146,096	23,662	19.3%	161,904	2,568	1.6%	308,000	26,229	9.3%
	セグメント間売上	6	8	15	10	4		10	2		20	5	
	売上高	122,441	159,345	281,786	146,106	23,665		161,914	2,569		308,020	26,234	
	営業利益	△7,176	△1,195	△8,371	△3,995	3,181	-	△1,805	△610	-	△5,800	2,571	-
	利益率	△5.9%	△0.8%	△3.0%	△2.7%	3.1pt		△1.1%	△0.3pt		△1.9%	1.1pt	
	資本的支出	5,985	5,449	11,434	8,288	2,303		8,249	2,800		16,537	5,103	
	減価償却費	8,014	7,698	15,711	8,748	734		9,084	1,386		17,832	2,121	
	人員(生産性)(人)	15,992	14,910	14,910	14,754	△1,238		14,392	△518		14,392	△518	

ロール	外部売上高	6,644	7,540	14,184									
	セグメント間売上	0	0	0									
	売上高	6,644	7,540	14,185									
	営業利益	△964	△457	△1,422									
	利益率	△14.5%	△6.1%	△10.0%									
	資本的支出	256	226	482									
	減価償却費	423	414	837									
	人員(生産性)(人)	1,820	1,789	1,789									

その他	外部売上高	3,127	4,263	7,390	12,930	3,159	32.3%	12,370	567	4.8%	25,300	3,726	17.3%
	セグメント間売上	202	290	492	263	61		137	△153		400	△92	
	売上高	3,329	4,553	7,882	13,193	3,220		12,507	414		25,700	3,633	
	営業利益	355	705	1,060	601	1,210	-	199	△49	△19.8%	800	1,162	-
	利益率	10.7%	15.5%	13.5%	4.6%	10.7pt		1.6%	△0.5pt		3.1%	4.8pt	
	資本的支出	74	85	159	607	277		1,427	1,115		2,034	1,392	
	減価償却費	118	123	241	474	△67		691	154		1,165	87	
	人員(生産性)(人)	176	180	180	2,001	5		2,078	109		2,078	109	

内部売上高の消去	△911	△1,533	△2,444	△1,395	△484		△1,298	235		△2,693	△249	
----------	------	--------	--------	--------	------	--	--------	-----	--	--------	------	--

連結	外部売上高	255,200	341,168	596,369	324,368	69,168	27.1%	348,932	7,764	2.3%	673,300	76,931	12.9%
	セグメント間売上	-	-	-	-	-		-	-		-	-	
	売上高	255,200	341,168	596,369	324,368	69,168		348,932	7,764		673,300	76,931	
	営業利益	△8,612	23,080	14,467	14,868	23,480	-	14,132	△8,948	△38.8%	29,000	14,533	100.4%
	利益率	△3.4%	6.8%	2.4%	4.6%	8.0pt		4.0%	△2.7pt		4.3%	1.9pt	
	資本的支出	13,525	12,203	25,728	17,346	3,821		25,843	13,640		43,189	17,461	
	減価償却費	20,326	20,343	40,669	20,986	660		21,946	1,603		42,932	2,263	
	人員(生産性)(人)	39,119	37,999	37,999	37,835	△1,284		37,576	△423		37,576	△423	

※上記の見通しは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※2021年3月期実績及び2022年3月期見通しにおける上期数値は、百万円未満を切捨て表示しています。



お問い合わせ先

NOK 株式会社 業務本部 広報部

E-mail: ssato@nok.co.jp

URL: <https://www.nok.co.jp/>

